

出七第九月八日

奉政務局

高明

信號一一四三
東學黨再起事件報告

次官

先日來當國忠清金羅地方東學再起風
聞頻々有之候處目下慶尚道地方三道同免
處々出沒し釜山ヨリ陸路京城ニ進軍ス
我軍隊ノ通行ニ對し人馬住用上妨害ヲ手
フルヲ勘カサん都ニテ向キニ考給ヨリ該地方
派出生セル莊原警部ヨリ度電報ヲシラ
報告有之候付テハ當政府ヨリヤ宣撫使ソ
派シ令圓ノ革新ニ付政府方針ノ在ル所善
ク曉諭セムル矣ニテ議政府都憲李重良
氏比佐リ暨明朝當地出發ノ都令ニ有之候
在此仕事ノ明朝當地出發ノ都令ニ有之候
右報告申進假設具

又別紙ハ在開慶莊原警部ヨリ電報中
一二ニ有之我軍隊南路沿除ノ事情伏
考、紙分ト在乙供度覧候
右報告申進假設具

在京城

8 188

明治廿七年一月三十日二等參謀事內因定
外務次官林董殿

八月廿九日午前十時三十分在聞慶警部莊原

秀次郎叢電

当地ヨリ五里又ハ三重ヲ隔タル尚州ノ郡内ニハ東學党集
リ居ル由又ハ咸昌府ニハ廿七日朝寄キ来リ縣官三四名ヲ
捕ヘ行オ處ヲ打ツ等亂暴ヲ働キタニ由府使ニ同夜ハア
イホウニ在ル兵站郎ニ逃セ来リ亂レ程ナリ当郡下ノ
者ニテモ捕ニ行キタル者三名をアリトノ一此等ノ説矣ク
信レ難キ又多少此ノ形跡アルニ相違ナリ聞慶府使
昨夜ハ警戒ヲ為レ尚ホ事アラハ援助ヲ頼ム旨申入
ケリ何ニセヨ此地方庠學ノ説ハ一般ノ民心ヲ動カシ地方
官以下日本人ノ為メテス者等モ何ヤニ付キ差かル模
様也趣キリ御参考止李重夏ハ何時發程セシヤ東

在朝鮮國京城日本領事館

學黨ハ妄張リ盜賊等ノ一時集リタルモノト信ス

八月廿九日午后十一時半分在閩慶萩原

警部署電

東洋莞ノ件付テハ已ニ電報畢セシガ本日
日本人川本ナル者ノ報元所ニ依レバ当地ヨリ
二里許ノ處カルボリート云フ地ニテ彼等集リ
村民三名ヲ縛シ居リシトノフ故探偵旁證
官原山下ノ三名ヲ逮ハシケルニ本夕歸来リ其
復命ニ依レハ果ニテ國地ニ五六半名ノモノ集リ
居リ村民リ三名縛シ居ラタリ因テ彼等目的
トスル所シヨ尋ヌタニ地方官ノ悪政ヲ障キ良民
ヲ助ケト云ニ村民リ傳シタトハ惡奸故處分セシ為
メナリト重ナルモノフ金ニウセイセキセイホ朴エイ
在
京城日本領事館

ニヨク」等ノ説明ヲ得ケリシ故渡辺當吉ノ形勢ヲ
述ベ解散ヲ命シ三名ハ傳ヲ解カシム給ヘテノ迷ヲ
解カシムルヲ務メタリ彼モソシヨリ解散スル等ナ
リ本據地ハセキモドウレトテ尚州ノ都内ニテ頭ハ
カウ姓ノ者ナリト彼等ハ近頃地方ノモノ日本ノ
為メササニマラルベシ耶クナド言觸ラシ頻リサ
虎ニ引カレ居リ日々其勢カラ増ス様子ナリ本日ハ
先ツ解散ヲ命シ三名ヲ連レ帰リクズケニ止メ
モ若シ益々增長セバ始末ニナラヌハ得方五事
待ツ

次官
大臣

公文一ハニ事

受第一二五四號

廿七年九月廿四日

善通局



寄附立勅文願便事官補大邱つち歩ノ上取
調クル事項ニ開レ別紙ノ通ノ舊年奇提
少致復開考、寫「通居道候」且シ右復命
書中記載ノ左ノ事項ニ付テハ
一日本貨幣ヲレテ多々完全ナニ流通ヲ
ナカレメントスハ頗ル用難ナレア以テ我支站
部ニ於テ支拂フヘキ人夫償其他ハ半額乃至
三弓ノニハ我貨幣ヲ用ヒ他ハ革手錢ヲ混用レ
テ支拂フ義ニ付テハ當地多站監ニ候議ノ上
当分右様取計フヘキ旨各地多站司令部ヘ
電報ヲ以テ遍知セレメ又清國人ノ軍用電
線切断ヲ計ルモノ之レアル義ニ付テハ多
站監ヨリ嚴宮ナル傳密タニスヘキ旨各司
令部ヘ電訓方取計タリ

一大邱近傍、於テ韓錢供給、途ノ得ト考
我商業者ヲレテ當國人ノ需要品ヲ該地
ニ輸送販賣セレムル義ニ付テハ役令ニ
由來ニシテ多額ノ現金ヲ持フルモノ
之レナレトルスル玉當夏以來、我軍隊遭遇
等ノ考メ該地方ニ於テ夢寐セル金額寥
々數十万圓、上り店ノ以テ一般人民有
ノ融通小却テ例年、優ルモ劣ルナカル
ヘキヲ以テ當港商賈等ニ漫論フ加く組合
數ケレメ金印其他ノ雜貨ノ輸送販賣レ新
我難償ノ貿易擴張ハ勿論從東支那之商者

、東株セレ販路ヲモ裁、板復レシテ
韓金供給ノ途ヲ用クト、レ因下支を着手
ノ迄ニ有ニ

一 大印其地ニ於テ相場表中兵站部參
考トナルヘキモノ之レアルタ以テ兵站部ニ示し
之ヲ送候司空之部ニ訓示スル事及ニ鑑前等
輸送ニ當る人夫ハ既ニ各地ニ司令印又ハ
司令部支那ノ設置アヘニ至リテハ自今該
地方ニ於テニ運入レ送候セしムニコト並ニ東
學院ニ關シラハ可及的匪意シかヒ其模様
ハ時々兵站監ニ通犯し且ツ外國人ニ對
レテハ勉テ伍更保護シ傳フルコト等ニ
レ夫ニ兵站監ニ抱旗ハ事の監ヨリ各司

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

明治三十七年六月八日
在釜山

總領事官印文



教員

右ノ如ク夫ハ外方事計置候此般申造候

外務省官林善解

馬

小良義客月二十九日大邱出張、命ヲ文
ナ監理署主事金治駿氏ト同伴翌
二十二日出发梁山寧陽清道ラ經テニ
十九日午後大邱着四日向同地ニ滞在
三十日午前十時大邱度清道客湯川萬商
ラ經テ本月二日午前十一時帰館致候依
テ大邱常在中監司卜拔洋、事項並
ニ同地及ヒ沿道各地ニ於テ取調、事
實別底ニ具レ茲ニ及復余候也

明治二十七年九月六日

領事官補 永慶久吉

總領事室田義文及

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

一 監司趙秉鶴氏ト協議ノ事項

一 容月二十九日大丘ニ着ストヤ同日ハ朝國太君
主ノ誕生日ニ際シテラ以テ監官ニ於テハ
祝宴ヲ張リ近傍地方官ノ來テ高列
スル者亦數カラス監司モ頗る繁忙、狀
アヘニヨリ利ラ抜レ置キ翌三十六日午前九
時同行ノ金主事ト共ニ監官ニ赴キ監司
ニ面會ノ上今般我國出兵ノ事由ヲ詳述
シ廣尚道名地ニ於ケト府使郡守另ニ人
民ノ或ハ未タ其事由ヲ解セサトモアヘカ
為メ軍隊通行上其他不便ヲ感スハ点勘
ナカウサトニ依リ此際特ニ閩文ラ若レ且ウ官
史ラ特ムシラ各大方官文ニ曉飭セシコトヲ
求ノ且ワ新式貨幣章程ヲ示し中央政
府ニ於テハ既ニ該奉章程、故り日本銀銅
貨幣ノ通用ヲ准許セラレシモ地方ニ在リテ
ハ未タ其朝令ノ發布シ知ラサトカ為メ實
際通行ノ道開ケサトニ依リ速ニ人民ニ諭
告シ拉文ノ自由ラ得セラレラシト請求
シ監司ハ純ク其事理ヲ解釋セリ然レハ
ホウ其仰仰ヨリ之ニ關スト何等ノ命令ナキ
ノミナラス新政府組織ノ事情等ニ關し
一々通牒ニ掲ス所ナキニヨリ直ニ各大方
官ニ對し閩文ヲ發し致しトシ且つ吉七日
着仕以未生奉ル内に限り補助便宣ラ無
ヘントラ勉メ尚未向後モ引續キ尽カセ

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

ノコトヲ期スト旨ヲ繕述セトニヨリ既ニ補ゆ
便益ヲ興フトニ熱にナト以降ハ閣文ヲ發ス
ル宣詔キコトアラレヤ又政府ヨリハ沿道省
地方官ニ諭告ス所アラシトメ既ニ新任
釜山監視署書以官シネ城ヨリ陸行セテ
久々矣ナレハ速ニ應諾セうんコト得某タ
ルヘレト勧ムモ監司ハ其筋仰余ニ依ト
アラサレハ應諾シガタレト主張ストニヨリ止
ムラ得ス外衙門ニ向合セ其四差如何
ニヨウ決セラレシコトヲ求人監司モ之ニ同
意一別紙甲另寫ノ電文ヲ認ノ之
暗号ヲ附レ送リ返レシトニヨリ直ニ大鳥
公使ニ向ケ發電し置キ色ニ迦ニ二十六
在朝鮮國釜山港
日本總領事館
日午前ニ至リ外衙門ヨリ監司一宛テ別
紙乙号訖文、回電アリタニニヨリ直
國文シ發レ又官文ヲ特仮セシコトヲ清
求し監司ミ之ヲ承諾シ國文ヲ起草ス
ハニ至リテモ其案文クト太タ明瞭ラ欠
キ真意貫徹セサムニヨリ更ニ數時向談
判ノ末漸リニナ九日名地方官ヘ一別紙
丙号寫ノ國文シ全貌忠情丙号監司
ニ對してハ別紙丁号写ノ通牒書シ発
スドニ至リテ而レテ其國文中未タ事理
ラ尽カレト所ハ特誠官文ニ於テ十方補述
スヘキヲ約し東萊府ニ到ルギ特仮吏ハ三
十日か官ト共ニ大邱ヲ發レ沿道府郡す

ニ對レ洋細懇說レ又閩慶郡ニ到ルキ特
公吏モ同日大丘ヲ生耆セリ

日本貨幣流通ニ關シテ、監司モ駁ト力シ
尽し、府使郡守ヲレシ、同長ヲ招キ、總商
セシメタレハ、追々、流通ノストニ至ル、シトモ
完全ノ流通ヲ見ル、乞ミ望ム能ヘサル、状
況ナム、以テ先づ我ノ支拂フ、キモー、ハ半額
岩クハ三令ノニ、我貨幣ヲ用キ、他ハ葉錢
ヲ以テ支拂フコト、セト人民ヲレテ、ムニ
ノ、麥助ヲ起サレムトコトナリ、終ニ後、流
通ニ至ル、シ

一、官ハ統理衙門ヨリ監司ニ對ス、葉錢三
萬兩、調、日本紙幣ト文換ス、レトノ、官

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

文ヲ携、茅レシ、ヨリ該國文ヲ監司ニ交
付、連カニ文換セラレシコトヲ請求セト、監
司ハ之ニ對し、統理衙門ヨリ既、審判ヲ
文ナシモ、赴任以未、數日ナラス、且つ、
年未、大方ノ飢饉ニ、加、本年、亦旱魃、
シテ、立穀五疊、サトカ為メ、人民ヨリハ租
稅ヲ納付セサト、ヨリ三萬兩ノ巨額ハ到底
用、誠ス、然、サトヲ以テ、一萬兩ノ外、調達ス
ハ、總、サト、旨、統理衙門、一、四疊、レ置キ、六
一万兩ハ、調達、ニ、待テ、司令部ニ送付ス
ハ、見上ナリ、テ、義、ナトヲ以テ、我ニ於テ、
口々、陸、河、餉、飼、輸送ス、為メ、當、四
人、危入、ノ、必、ア、ア、ハ、レ、テ、候、令、リ、本、貨、幣、中

純リ民通トモ葉錢四五万兩、用意ハ一日
モ次クヘカウス且つ大邱へ廣尚道ノ郡府
タレハ四五万兩ヲ厚ヒニ易クシテ思考ス
ト古ラ況中一万兩ハ二十七ロタ刹ラ期し代
ハ一周日内ニ調達セラシコトヲ申込ミ置キ
タトニニ十七日ニ至ル同日内ニ到底坐奉
トノコトナニヨリ大邱近傍ニ於ケル豪者ヲ探
知レ左ノ十五名

徐聖淑、趙千龍、李石振、馬時伯、李善
行、韓龍官、崔慶伯、鄭立善、崔致明、
李敏秀、李尚秀、朴德臣、徐仁同、律
相斗、白雲立

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

キニ依リ之等ニ對レえ方ノ懇請ラ加フト
於テハ忽チ調達スレト況キ監司ハ女
額、付テハ貧言レ難キモ懇請ラ加フヘト
称トニ十九日午後ニ至ル斯ク一万兩ヲ調ハ
兵站司令部ニ交付、運ヒニ至ルク如
此事狀ナヘシテ官幣在中ニ到底全
額、調達ラ見ル缺ヒサトニヨリ後事ハ同
大兵站司令官馬屋草少佐ニ委託セリ
韓錢調達ニ付テ監司モ故テ力シ尽リワ
ルニアラサトモ着仕以本日尚未降クレテ未
ク大の方ニ事候、通曉セス加トニ租税
ノ未納者多ク又富豪者シナ目立トニ
ノモ其実土大家屋ラ有ストモニシテ

現錢ヲ有スルハ甚リ富暮キニヨリ獨り監司
ヲ強ニトモ數万石ノ調弁ヲ見ハシ難キコト
タリ然レバ官ノ視ハ所ニテ「大邱市中」
撒布セん葉錢勘ナカニサルニ依リ此際我
高車者ヲレニ粗食ヲ設ケシメ金印其代
ヨリ四人ノ需要品ヲ輸送貿易シ其代價
トレテ得シテ韓錢ハ之ヲ司令部ニ於テ紙
幣ト交換セシムト、於テハ一ハ貨物ノ販路
ヲ開キテ韓錢ノ供給ヲ厚ニ者共ニ利
便ナヘシト思考ス

一沿東三浪向ニ於ケル沿東江の底浚渫工代
一件ニ付テ或ハ特ニ官丈ヲ以テ或ハ同文ヲ充
セシテ監司シテ生奉厚ん限り力ヲ尽サリ
ノ用意シテ存付ス

一八月中旬大邱以西五里許ノ向御軍用支綱
ヲ新セトモノ、對スル處分ニワキ監司ニ誤
スアリシ、其時架設隊ヨリ犯罪者ト
シテ七名交付セシム事実審問ノ上立
各ハ全う無間保久ヒト判明セトハテ放免
シ他ノ二名ハ嚴刑ニ从し尚本向後効新者
シ生セサシシカ為メ地方人民ニ説示シ左ノ掲
示ヲ各處ニナシタリト（右ノ掲示ハ到付及貼）

一電緯切新者

鎮官在因 驁仁大刑一次照律

本府在因都春冥刑一次照律

掲示文

日本軍隊如有傷害、當報官刑罰而不
善守直之該店主、亦施同律之意。自
官令下則咸須知悉次。

又大即傍立中軍用軍隊劫財、若
四人三名朝鮮服裝、大即凶傷、
獨不、凡平、向、キトヲ以テ其事不、
ムト為、ノ殺、鮮人、シニ、窮、カ、探、偵、セ、シ、タ、ト
モ更、形、跡、ヲ、得、ワ、リ、シ、ヨ、リ、監、司、ニ、對、し、嚴
シ、諸、方、ヲ、探、索、レ、捕、捉、審、向、セ、シ、ツ、ト、ト
求、メ、一、方、ニ、軍、用、軍、隊、而、另、ニ、注、意、シ、此、ヘ

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

又將來、取締方ニ付監司及判官(大即傍立
署り)ニ注意、シ、促、レ、置、キ、タ、ク

二 大即朝鮮電報局占領、(大即傍立
所轄)ニ付

朝鮮電報占領、原因ニ、開、レ、ハ、軍用電信架
設、枝、隊、長、吉、見、工、兵、少、佐、(龍、同、ニア、ア、テ
シ、洋、密、ナ、ハ、コ、ト、ハ、知、レ、能、サ、ト、一、キ、ニ、同、少、佐、ハ
沿、東、即、キ、大、即、ラ、考、レ、十、四、里、)、地、駐、在、ス、レ
ラ、以、テ、親、リ、面、談、ス、ト、ノ、便、ラ、得、ス、依、テ、同、局、主
佐、飯、店、枝、手、ミ、就、テ、調、フ、ト、ノ、初、メ、軍、用、電、信
支、局、ラ、南、山、禁、幕、即、キ、朝、鮮、電、報、局、ソ、距、ヘ
留、ス、ニ、ミ、ノ、ア、ヘ、カ、ル、ノ、屋、舍、狹、屋、ラ、先、ケ、タ、ミ、依、リ
沿、東、駐、在、吉、見、少、佐、共、事、狀、シ、見、申、シ、ハ

月たり向ヶ佐ヨリ朝鮮電報局借支ノコト
監司ニ談判スキ古電門アラタニヨリ直ニ
監司ニ談判テ咸ミシテモ一應其サセ、經向
ノ上ニアラサレハ事行し難シトシナガリ向
猶豫ヲ求メテ以テ其旨吉見サ佐ニ回電
シテ、翌ナル日未既向ヶ佐ヨリ兵ヲ率テ
占領スヘトロ電門アラタニヨリ一小隊弱ノ
兵ヲ率テ同局シ回ニ局員ニ退去ヲ促レ
而足ハ一ノ抵抗テニサス而貝シ收メ車
退去シテ即日同局ニ移り引継ギ事
務ヲ取扱ヒ旧支局ニハ瘡病患者ヲ移レ朝
鮮電報局員ハ城内ニ一局ヲ設ケニロ体當
後執務レ居シテカクト依テ回技手ニ對

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

シ占領、結果トシテ朝鮮電信ヲ廢棄、
屬セシムトカ如キコトアリニ於テ、各國ニ廉諒、
通知シテ此一サト一カラストモモ経歎電報局員
ニシテ引継ギ執務レ居シテ、章ナクトオペ吉
見サ佐ニモ其大焉ヲ通セシコトヲ依レシ置キ
久

又朝鮮電報局ヲ訪ヒ、主事金李二氏ニ面
會セテ、向氏芋ノ言ニ依レバ、家屋引渡ニ付テ
ハ兩國政府向ニ於テ協議セシム結果ナリ、
シト信シテニ不平ヲ抱カサトモ、如シ而シテ現
局ニ城内ニ在レ將官駐カム一ノアキテ、
モ狹隘ナムカ故ニ大邱以西電行同面ノ日、
於テハ亦他ニ移ラサルヲ厚サヘシ方々

三 大邱及附近地方ニ於テ見聞セし

事項

一大邱ニえト人氣陥落ニシテ日本人ニ對しテえ
往々松屋等ノ擧劫ラナスモノトウ又監官ニ於ケ
ハ六百ノ兵士ハ市中ヲ横行シ劫モスレハ外人ノ
奸害トナシトニ當乎屬々間リ所ナリシカナ官常
在中觀察者スト所ニシテ其人民ハ我兵士及人
夫芋等ニ對し亦亂暴ラナスモノナリ六百ノ兵士
ハ市中ヲ徘徊シ或は城門ヲ警衛ストモ日本
人ノ通行ニ際ニ於テハ共ニ首ヲ屈ケ生奉傳
ル矣便宣ラ照ヘレトスモノ一如し是ミ至寧レ先
般我軍隊通行以東大ニ恐懼ノ念ラ生レ
タト一六監司ノ嚴令アドニ由トモノナヘレ

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

一大邱ニ於テ春秋ニ季ニ大市ヲ開キ諸道ヨ
リ來商ソスノ甚ダ多ク隨テ其開市中ハ商
業非常ニ活潑ナリトモ其前後ニ於テハ唯ク
大方人民ノ需要供給ラズエヌニ迄キサヘカ故ニ
商業甚ダ繁盛劇ナササトヨ開城ヨリ未テ常
ニ商業ヲマメサナカラサリシニ西三年未ノ山
作ヒ加ヘ本年モ亦一層ノ山作ナリト称スヘカ
如キ状況ナトクハ遠未ノ商業ノ最盛ナリト称スヘ
南門内鐘路近ニ寢寢トシテ有力な商家
テ甚大ス唯西門外ナニ二七ノ市口南門外ナ
ル四九ノ市口ハ祐ヤ盛ナリ今其著ニ高
品中取扱ヘ之物價、ラ擧クシハ

(韓角加拂
一四三三)

リ文ナ

米 古 上白米

一分六百四十文

米 新上白米

二分八百四十文

大麦 上茅

四百四十文

大豆 口

三百六十文

小豆 口

三百三十文

日本鹽

五斗入急便

六百文

金印 汽車印

一足

二贯六千文

鷹印

口

二贯六千文

兔印

口

二贯六千文

甲斐文箱

口

二贯七千文

薪

三斗

一百八十文

炭

口

四百八十文

柴

口

六千文

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

米及麦ハ少數廿九石又金印額口賣
行多レト色ニ呑拂底ニシテ零賣シテタス
足ラスサ新炭ノ如キ、甚多キシテ古虎
ヨウ輪呈セサルニ後地也傍ニ於ケニ我陸軍
用ニ次之ヲ告クトノ委ナシ密陽情書ニ於テ
ミ米麦ハ多量シ厚ルコト致キニ新炭ノ如
キハ其量ニ甚シタクシ

一大邱附近ニ於ケニ農作物ハ旱魃ノ為メ缺
生長スヘニ至ラス早稻ハ既レ熟シ又收穫レツ
アズニアウト名ニ例年ノ比ニアズ晚稻ニ至
リテハ半ハ枯死レ大豆ニ亦昨年ニ比レニ

9

三方ノ不作ナリトキラ梁山密陽道傍ハえ未
土地肥沃ナト上水利ノ便成分向ケ居ニシテ
テ他ノ地方ノ如リ甚シキ害ヲテサトニ煌昌
ノ為ナサカニ食害ナシ又ケ同地方人民諸
ハ所ニヨシハ農作物一般ハ昨年ヒ亦ハモ侵
ルコトナリ亦凶年ナリト

一本年ハ一般ニ凶作ナリト称ストヲ以テ名大ト
ミ房勧ヲ望ムモ一甚ク多キ有様ニシテ大邱
如キ一日ノ猶豫ヲ以テセハ七八十人ノ直ニ集
マヘケ又清道密陽ニ於テミニ三百人ゝ得
ハ一號キニアラストキノ無シハ孤軍隊コ通也
以未だ方ノ物候俄々騰貴ニ乞シ以テ人夫
ノ貨銀モ隨テ曰レ矣、レ大邱ニ於テ一里五

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

ナ文クリシニ今レ七ナ文トナリ密陽清道ニ於
テハ二十文又至三十文タリレモノ五十文トナリ

タリトキ

失般我軍隊陸行ノ際ニ於テハ全牛人丈ヲ
厚トノ因難ナシト慮り鶴テお隠ニ於テ住
入レ清員人ヨシテ京城近ノ責任ヲ負ハシメ
タリトモ途中韓錢ヲ厚シ賣外ニ因難ナ
リシカ為ノ人丈ノ逃遁ストモノ多シ施テ軍
隊ノ進行ノ故障ヲ生レヌ一方ニ清員人
ノ因難勘ナカラスト向ケリ其當時ニ於テハ
固ヨリ止ムシ厚サトコトニシテ又人丈モ今ロノ
如ク金牛ニ於テ三雇使し厚シサヘ事情ア
リシニ由トトモナリ、於テ名焉地ニ鳥站

司令印、はま、見、ひ、ま、う、ま、し、自、今、人、金、
史、大、方、ミ、旅、テ、住、入、し、順、次、輪、延、セ、シ、ル、ト、キ、
金、牛、人、夫、ノ、逃、遁、ス、ト、マ、ノ、ナ、う、又、清、員、者、ラ、
テ、長、金、ノ、責、任、セ、ム、ハ、カ、如、キ、コ、ト、ナ、リ、甚、々、便、
ナ、ハ、一、レ、

一大、邱、ニ、旅、テ、ハ、城、ノ、東、西、あ、北、名、閑、門、ア、リ、夜、
用、チ、朝、同、ク、ラ、例、ト、セ、リ、然、レ、ハ、我、害、信、ム、司、
令、郭、茅、ノ、設、置、ア、ン、障、ニ、旅、テ、平、時、ノ、如、リ、開、閉、
ヲ、嚴、ミ、ろ、ト、キ、ハ、不、便、勘、ナ、カ、サ、ト、ミ、ヨ、監、司、ト、
ナ、ば、ノ、上、兵、士、シ、レ、テ、立、番、セ、シ、ノ、金、リ、用、餉、セ、
サ、ル、コ、ト、レ、又、清、道、密、湯、ニ、旅、テ、モ、同、シ、ロ、協、
議、シ、置、キ、タ、

一大、邱、ニ、居、住、ミ、外、四、人、ノ、唯、タ、佛、四、宣、教、

在、朝、鮮、國、金、山、港、

日本、總、領、事、館、

師、エ、ビ、ト、ロ、ベ、ト、氏、一、人、ニ、レ、テ、氏、ハ、十、八、年、前、
当、回、ニ、来、リ、名、大、テ、漫、遊、レ、立、年、前、ヨ、大、
邱、ニ、駐、コ、リ、南、山、ノ、禁、幕、ニ、在、し、朝、鮮、家、屋、ヲ、
教、會、堂、ト、レ、事、う、布、教、ニ、カ、ラ、尽、し、現、今、
ミ、永、テ、大、邱、附、近、ニ、旅、ケ、ニ、信、往、六、七、石、人、ア、リ、
ト、キ、ウ、氏、ハ、純、ノ、韓、漢、ラ、ホ、レ、布、韓、文、ラ、紙、ク、ス、
一、日、氏、ラ、訪、ヒ、東、学、學、党、ニ、离、レ、新、報、ラ、厚、タ、
ル、コ、ト、ナ、キ、ヤ、シ、ヨ、ネ、又、今、四、日、本、出、兵、ノ、事、
由、ラ、陪、ウ、タ、ト、ミ、日本、出、兵、ノ、止、タ、ラ、厚、サ、ト、ミ、至、
タ、ソ、所、以、ハ、前、日、野、津、中、將、ヨ、う、親、ク、向、
所、ア、ウ、ト、称、レ、盛、ミ、其、義、舉、タ、ラ、賞、揚、レ、
又、東、学、黨、ニ、付、テ、ハ、全、羅、金、万、山、ニ、隸、今、集、
シ、自、傳、新、修、纂、鑒、正、卷、二、三、五、封、之、若、凡、

申段、向ノ所ナリシガタ又吾州ニ於テ立行石
名群集セリトノ報ニ揚レシム也唯ク凡況
迄キサシイ信ヲ指キ致シエクト依テ自後之
ニ向ニ新報を一ト得テ、ニ於テラ同日亦
司令部ニ通知セシレコトヲ望ムト由ベ同
氏ミ之ヲ謀シクニヨリ我司令部ニ於テ其
通矣、擣シタルトキ、早便ラヒテ當被、而知
セシコトヲ司令官ニ委被し置ヤク
一大邱山倭傍ニ於テ一近村生牛ノ襲衣孔ニモ
多シトノ凡評アトニヨリ監禁に官文等ニ載
キ向クニ果シテ為夏以来襲衣孔せんモノ既
ニ數十頭ニ上りタんハ事ニ未ナリトモニ其
聲ニ死、ノ率因ハ不以ナリトノコトクル也
在朝鮮國釜山港

日本總領事館

大牛皮久トハ珍シト明カナヘニヨリ同大兵站
司令部付歎驚ニ漢シ事務ノ餘暇ラ以
テ調査セシコトヲ托レ置キタ

(終)

甲号

外署

日本代理領事許解内、貴國請援行兵、我
大隊由陸上京、專爲貴國官民某曉其意、
轉生疑懼、故自署統署已派員曉飭沿路云
矣、果不知耶、自貴官即將此意、一、措辭、發旨
各邑、使官已洞知本事、俱便行軍云々、答以京
閑來到前、莫可擅閑、領事又示初八日朝紙曰、
銀銅貨幣通行事、已有貴政府諭定、又當
行會矣、亦以此意速飭各邑、俱亦舒無碍
通用云々、答曰貨幣未常非交易至商店幕愚
民、素角通用恐不便、且未承京司公文前姑
不可擅行、知委之意、予般相持兩件事、又會
探地、深諒指教得爲回答、勿需立覆仰企、

附

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

領官

七号)

外荷門ヨリ、聞電

領營、屢度開銷、以日兵照料事、尙迷乎日
本素有方誼、近益乾疎、宣布比意於各邑
可也、銀銅貨幣通行、亦有朝令、鎮日幣交
易無妨、而惟紙幣逐日降低、宜交易外荷

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

丙号

各邑了

日本代理領事諒辨內、署國請援兵、并大
軍由陸上京、票爲貴國官民莫曉其意、轉
至疑懼、故自貴統署已不眞、曉歸沿路之
果、不知耶、自貴官助將比意、一指證、采甘各
邑、便官邑洞知未事、得便行軍云々、答以京閏
未到前、莫可擅開、領事又示初八日朝紙曰、
銀銅貨幣通行行事、已有貴政府稟定、必
當行會矣、亦以此意速飭各邑、厚行舒無
碍、通用云々、答曰貨幣未常非交易至店幕
愚氓、遂角通用恐未便、且未承京司公文前、
姑不可擅行、知委之意、多般相持、兩件事、以
重不載入地、深諒指教得爲圓答、勿滯立覆

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

仰企之意、電報于外衙明矣、即到外衙門回
電內、畢竟開飭以日、并照科事尚迷、平日
不素有交誼、近益敦睦、宣布比意於各邑可
也、銀銅貨幣通行亦有 朝令、頃日幣交易
無妨、而惟紙、謂逐日低昂、宜交易、亦爲置非
但電飭云、若是鄭重、又比交誼比前益敦
凡于保、請乞諒、不容少忽、曉飭民間、勿勿
疑懼是之許、銅銀貨幣既有通行之期、與
日本銅銀貨幣交易事甚便宜、行貨之節、
招致各洞頭邑、便之曉諭於大小邑人、屬無
可百一忌、不知疑懼之地爲許、甘到日時、先即
馳朝向事、

七月二十九日

貨幣規式抄錄

日本銅貨一錢一箇。當常平錢二分。
日本白銅貨五錢一箇。當常平錢二錢八分。
日本銀貨二十錢一箇。當常平錢一百分。
日本銀貨一圓錢一箇。當常平錢五百分。

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

丁号

送全羅忠清兩官書

日昨日本代理領事談韓內貴國請援我
兵我大隊由空上京、專爲貴國官已草曉
其意轉生疑懼故自貴國統署已承草曉飭
沿路云矣果不知耶自貴官即將此意一一
指辭矣日各邑便官已同知本事得便行軍
云、答以京開未到前莫可擅開領事又示
初八日朝紙日銀銅貨幣通行事已百貴
政府裏定以當行會集亦以此意速飭各邑
俾我鈔無碍通用云云答曰貨幣未常非交
易至店幕愚陋遂再通用恐未便且未承京司
公文而姑不可擅行知委之意多般相持而件事
必重、亦擇地深諒指教俱爲固禁勿帶立覆而
企之意電報于外衙門矣即到外衙門函電
內委度開飭八日共照辦事尚恐平日本素
有互詛近益耽延宣布此意於各邑可也銀
銅貨幣通用亦有朝令暨日幣交易無
妨而惟紙幣取日低昂宜交易云一旦日本代
理領事來言日貴官既有外署之電飭以
獨我空軍來往之節銅銀貨幣通行之事而
忠清全羅兩道則亦將有貴外署之節然
處或差晚先以此往復兩官之意有犯故
茲仰報俯諒裁處之如何

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

貨幣規式抄録

日本銅貨一錢一箇 富常平銭五分
日本白銅貨五錢一箇 当常平銭二銭八分
日本銀貨二十錢一箇 富常平銭一百分
日本銀貨一圓錢一箇 富常平銭二百分

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

成号

各邑了 七月二十三日

日本糧米、勦運於我邑廣船而已爲來泊於大邱沙門津頭、方又朝流移泊於洛東津次第至船、然江水甚汙、難以運船是如今二十六日內、堪難停開船路之意。日本司令官來請不已、非不知民情之爲難、茲以卷甘別充官軍官下送到即本邑初終境江水汙難處、雇得夫丁、充將吏、呈火深廣掘沙以爲今二十六日內、訖役之地是矣、事急迫無可陳、忽以致生梗是遣雇賈假爲先以某孫公銚中計給所冊終報向事。

一星州一大邱一榮谷一仁同一善山一尚州各邑了再歸 七月二十五日

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

日本糧米船運時、本邑初終境江水難處、今二十六日內掘沙之意、前百所充役、限至廿日、日本司令官着審掘難之役次、今二方委往、而別充官軍官同爲下送到即多至役丁、浮廣掘沙、偶便運船、無至滯碍生事之弊、宜當向事。

一大邱 慶谷 仁同 善山 尚州

各邑了 七月二十六日

日本糧米裝載、勦運於我邑廣船、方爲江運而三良以上水汙沙阻不得運船、是如掘難以給之意、日本來請不已、非不知民情之爲難、茲以卷甘別充官軍官下送到即本邑初終境江水汙難處、雇得夫丁、充將吏、呈火

平庸掘沙得便運船無至帶礦生事之弊是
遣雇賈段就草標以銘中計給成冊以朝
向事。

一密陽 一靈山 一草塗 一高靈

一昌寧 一玄風

龍宮了 七月二十七日

日本代理領事官訖辦內 我國人前往龍宮
時自詆邑冷落頗甚凡事窘殆實非隣
諺之意是以如云云未知何措局有此說詰是
喻茲以奈古從今以後日本入如或歷入於本
邑必復款接善待厚護交隣之誼無可有阻
堵之端為計若有所求物種便之商議貿
送是矣賈市既以自行申報價矣知此另飾

在朝鮮國釜山港 日本總領事館

奉行向事。

各邑了 七月二十八日

日本入往來時各別厚謗之意屢有干節
是在果留館代理領事官訖辦內 我國
兵丁由陸上來時不無剽竊之端亦有求請
之事是如引錄奉目固請衣施而其在交隣
之誼有不可忘然故依其条引後錄奉目分
高度無可有違誤王事之弊為計至於未
來及他物買得貨入馬雇用呈節從第公
平之意另飭施行是置甘到日時先即馳
朝向事。

一日末兵丁所經各處十分保謗事
一電信架設及道路修治時取之木而有

所求請量其所入界許株商議卽綿後即
報事

一未麥新炭株葉許賣事

一入夫馬正雇沿事

一所經店舍兵丁如欲寄宿許其上宿事

一廠舍建設空地如有求請而無所拘碍處

許之而即報事

一如百宜鹽倉庫家屋隨其請用暫許

借用事

一東萊一津山一密陽一清道一大邱

一恭谷一仁同一善山一尚州一同昌

一聞慶

在朝鮮國釜山港 日本總領事館

Seoul, 23 Sept. 1894. 12. 20 p.m.
Rec'd 23 " " 7. 30 p.m.

陸 奥

(104) As I have telegraphed
to you 東學黨 have risen in
忠清道 全羅道 慶尚道
and it is said that they are coming
~~from~~ ~~everywhere~~ to 京 塚 they have
killed six Japanese at 天安
忠清道 but Korean government
is too weak to suppress them,
presence of those bodies will not
only disable Korean government
from levying taxes from those
provinces but will highly prejudice
our interests and aims it is there-
fore absolutely necessary to assist
Korean government in suppressing
them by sending a company of
our soldiers with 30 100 看 under
武 2 may I propose this to Korean
government after consultation with 41 號
if you have no objection.

Otori

電受第
ハニ七
號

3503

4月
13
13
13
13

上義

電
24/18

電信稿文 明治三七年九月二十三日
至
日本三十七年九月二十三日
電信稿文

陸奥太田勝大川 林山勝治

電信稿文 本進之運也 カク忠清道、全羅道、
慶尚道ニ東洋子商人蜂起而高城へ侵入

之七八風流了

該處ハ唐清道、姚安、府テロ軍人ヲ縛シテ
殺シ多リ代レドモ朝鮮政府ハ兵力微弱シ
外務省

三三三總空 1號空

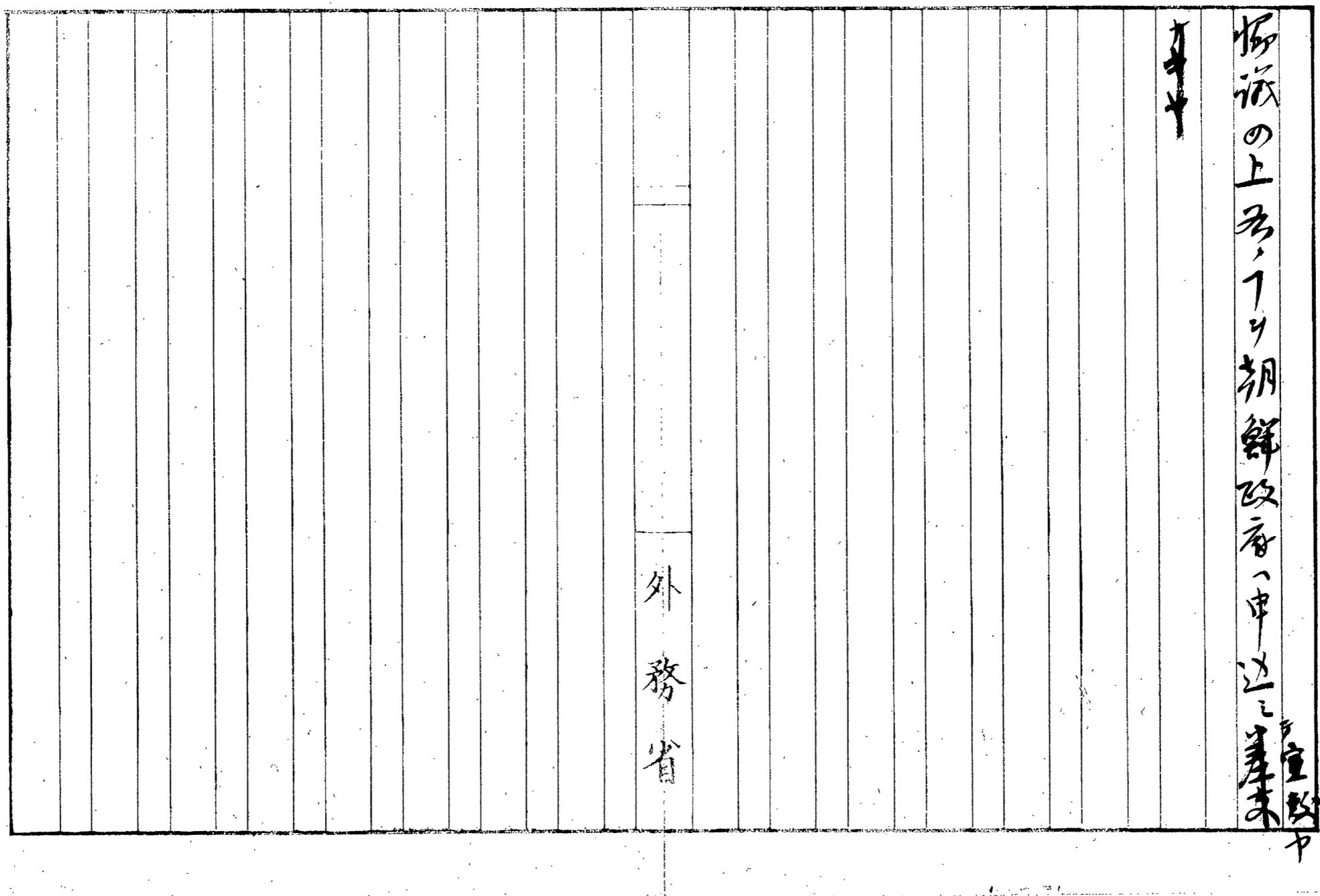
謂實如其說、以在三八朝鮮政府ヲ
勢力加羅而其事主等ノ地方署役ヲ徵收
至不能サラン而レナラズ我ノ國的ヲ達元、防禦
モナシ、然矣一十隊下武久率空所、巡查三十
名シ朝鮮政府ハ貨レ其、鎮空方ヲ補祀
空ト若モ必要ナリ

某ニ當官、於テス異在ナテバ山縣大將軍

柳城の上多ノアソ朝鮮改名へ申込ニ奏未
宣教ヤ

立中

外務省



5-1302

0217

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

5-1302

0218

Copy

2.

外務大臣
廣島發送

電送第

號

大島公使

Received your telegram 103, 104,
105, work of constructing telegraph
line should be carried on without
any delay. As to the assistance
to Korean government to suppress
G. 學黨 your proposal is approved.
Arrange with military authorities
in 京城 about sending of our
soldiers. As to 三三查 your own
discretion.

Mutru

at 廣島

Sept. 24, 1894.

3.

東洋 which leaves the capital
entirely unguarded and
accordingly gives a good
opportunity for British
Consul General to land
marines or call detatch-
ment from Hongkong Garrison
on the pretext that the safe-
guard of 宝寶島 is not suf-
ficient. Beside from the in-
quiries made here I am
inclined to think that there
exists such intention on
the part of British Consul
General. Please take im-
mediate steps for bringing
the matter before the head
quartersurgency of situation
demands direct communica-
tion with you so that

電受第
八三四
號
60

總
務
科
印

Matsu

Tottis,

(32) It is reported that about 3000
東學黨 near 釜東 and several other places
are showing the attitude to attack
our commissary of stores at 釜山
and 副官 sent therefrom for investiga-
gation seems to have been murdered
by them yesterday so beside demanding
慶尚道觀察使 through the Superin-
tendent of 釜山浦 to take immediate
steps against them asked 在京大臣
公使 to demand Korean Government
to instruct 慶尚道觀察使 to
send Korean troops for seizing
chief marauders and preventing
riot or else, our commissaries
will be obliged to do so themselves.

Murata

Fusan, 25 Sept 94. 1.50 p.m.
Rec'd " " " 6. p.m.

5-1302

0219

上
電信
陸軍大臣
外務大臣
川上

萬鶴

陸奥外務大臣

林外務大臣

東京

電信詳文。二十七年九月二十六日午後十二時半發
接

金山總督事ヨリ左ノ電報アリ
開ク處ニヨレバ寧東近傍ニ三千人集學黨ハ
其他
者所ニ群起レ在台寸兵站御敷數々スルノ奉
勤経ハシテソヨリ状情從寧ノラメ派遣シテ
官ハ此の該党ノ為ニ殺害サシモノヤシ故ニ空
外務省

山浦朝鮮官吏、經由慶尚道觀察使ハ四月ニ
該旁ニ至シ例ハシ處アリタキ吉清求ニ且ツ
重慶元黒
備備奉浦並々募行者ノ逮捕及累民漁撫
多ノ方メ朝鮮兵コ派遣度ニ度尚道觀察
使ハ訓令取締科勦鮮改齊、請求アシシテソ
連署署ケリ代々サセバ戎兵站御ニ於テ
速捕及懲鎮撫身方ヲ自ラモサルリ得サルニ至
レ

暗号

電文年四百五子四月廿九年九月廿五日午後二時ニテト者
副官竹内之尉ハ二十四日リユウキウ（クヅルヤ）ニテ
東学党團マレ頸筋深手ヲ負ヒ歩行出
走サワシトノ事故多々殺サレタルナラニ隨行兵
一名指ヲ切ラレ自由ヲ奪ハレタルモ連レノ二名ト共
ニタイホウ兵站部逃ケ帰リ依テ死体保護其
筋、照會セリ又ブンケイ及タイコウ兵站部ノ審覈
ニ依ルミブンケイヨリ五里乃至二十里成ルカツヘイ
（クヅルヤ）セキジョウ（アカシロ）セイフウ（キヨガゼ）タシヨウ
（アカミナミ）リユウキウレイセン（アマザケイウミ）ソウコク
（クサタキ）等ミ六東学党集リホウランハ其巣窟
ニシテ何レモ不穩ノ奉マク又タイコウニハ同党五十餘
名既ミ入込ミ尙追ハ入り未ハトノ囃チリトノ事ナ
リ依テ何レモ連鎮様ノ儀其ノ筋ト協議アル様
大島弓使ハ電清セリ

陸奥文

室田

金屋山

暗號

電送第三六号

明治廿九年九月二日
午時奉書

主任

同月日起草
日發送

廣島陸軍外務大臣 林久裕次官

元山室田ヨリ左、電報アリ

副官竹内之助ニ二十四日龍宮ニテ東學黨ニ
圍ミテ頸筋三深手ヲ負ヒ歩行出走サリシト事
故多ハ殺サレタルナラン隨行兵一名指ラ切ラレ

外務省

自由ラ奪ハシタルモ連レノ二名ト共ニ台封兵站
部、逃ヘ帰リ依テ死体保護方其筋ハ四合
セウ又ブケシイ及台封兵站部ノ電報ニ依ルニ
ブシナイヨリ五里乃至二十里成ル葛平、赤城、
清風、丹陽、龍宮、醴泉、草谷等ニテ東學
党集、執思、其黨齋ニシテ何レモ不穩、
羣マク又タイホウニハ同党五十餘名既ニ入込
而追一入、未ルト、噂ナクト、事ナリ依テ何レモ

連、鎮格、属其筋、協議アル様之鳥云
便、電請セウ

外務省

5-1302

0223

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

泥瓦瓦

政務大司

暗號

省外

電受第四一一號

明治二十七年九月廿日午前五時三分半

牛内太尉ハハツ超セ名シ地見テ往無
不穩ノ模様アリ香港兵站監ハ已ムヲ得
追^{シテ}手^シ命人タラタイホウ^ハハ^ハハ^ハサ^ハノ兵站
部、傳ヘ又香港^ヲ一小隊^ヲ派遣セリ朝
鮮政府^ヲ漸^ク慶尚監司、傳令シテ兵
四百人ヲ出^ストニ相成^ル由^ハ唯人^ニハ使
銀^ヲ重報^ニ格ヤ

東立 陸奥 室田 釜山

MUTSU,

TOKIO.

112. called upon me quite unexpectedly.

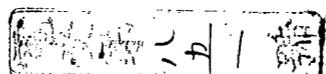
Important points of conversation as follows:

3. He hopes to postpone the dispatch of Japanese soldiers to suppress 東洋党 for the present as he will try to the utmost to do so.

OTORI.

Fusan. Sept, 30 1894. 2,35.P.M.

Rec'd , , , 5,40.,



5-1302

0225

外務省	電送第三三四號 明治廿七年九月三日午前二時十分發
	大島公使ヨリ左ノ通り電報アリタリ
	大院君ハ九月廿八日圖々本使ヲ來訪シ面詰ノ大意
前田畠	二、東學黨ノ鎮定ハ大院君力ヲ尽ス積リユヘ日本矣 '派出ハ見合ハセヨ乞一リ
	右原書ハ朝鮮内政改革關係アリ
暗號	
電受第四三一號 明治二十七年九月三日午前四時 分發	間慶兵站部、電報：昨夜五時半、軍慶ノ五里東、セキモンニテ我工兵二十五名人支十二名東學黨ニ出達ヒ互に銃砲セリ彼ハ凡ツ六百人要害、ヨリテ戰ニシモ大敗レテ四方ニ散ゼリ我兵死傷ナク彼ニ死人二名負傷者多ツ死人、中一名ハ頭合ト見二ノ捕臣火縛ツ、一百。三、刀四、馬二、韓錢九貫文餘ナリト云フ
外務大臣	室因

廿七年十月一日接慶
主管 政務局
十一月

主管政務局
三月

桂系中立派 通商局長

卷之三

度無絶区別互考互核者人作
吉ん木中。靈故ヲ以テ申付。通り。舊而是
其部ニ於テハ車字竟多改ニ葉アリ。不禮。
羣物アレ也。右之今迄詳故ヲ聞ク。
一國度ヨリ其の正本也。其は傳り先古平

機密第受三九

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

在朝鮮國釜山港 日本總領事館
主捕手中大ミ人口多クシテ其因難ナリ左士
十餘名、先石高ニシテ若近々多板ノ日光入
ツヒニ來ル、模様アリ。太郎吉詫故ヨリ左有
ニナ寄付易矣。

一萬零九百三十人ナリ安東地方ニ集テ左兵討
猶兵站新ラ築シトストノ執事ニ持シ日郎
司令官”副支竹内大尉ラニテ俊志ノムソ出馬
シタル。大尉ハ詮官ニ於テ多兵ノ因襲ニ取風
マシ禮えニキ偶リ更フテトレタリ徑卒ニ右居
辛フシテ多封兵站部ヘ此ゲ降シテ尋ナ
大尉、此件ラ甚見シ兵站部ヘ川取リ（左兵
二十六日三時四署付多封兵站部ヨリ）執事
又別執ニヨシハ安東ニ集合せテニ左兵討

ニアラシテ自ラ森兵ト附て其臣駆ハ往
某ニシテ名ニテ至性ニテ有ナリ奉シテアト
其主召スル處ハ文邸ト象邸トツ有る年
本強ニカラシテノ事体アリ日本が今リ
林御リ村ス不情たニ合ニテナキ拂フハレ
トナニテ多々檄文リ興シ因志リ集ソ
タクトア

一署附ミ一揆起テ全ムヘ合ヒ東ラントンノ
模様アリトモ又蔚山彦陽モモ紀起テ
シカコレハ間ミナク解説セリトソイナリ
此メウ不稳ノ弊起々高マリ松方義正於テ
ハ桂璧ノ實力ナリ既ソカ安ツキ先壁院テ既テ
慶尚北道監司ヘ民紀餉於方略会、合ヒテ

在朝鮮國釜山津

木曾總領事館

監司ヘ之付シ弟ニ校卒ヲ派セシムノミニテ附
座轉於ノ目的ヲ達ニシテハシハシテアキ尾兵站
監ヨリハモウリ也ズ閔慶多村孝ノ日郡ニ逃
セシノキリ傳ヘ高麗代ヨリモ一少陽リ以降甚ば右
兵站部が最後ノ年號ヲ附ヒ至テクルニ寛ニ一日
モ將被シ雖キ免免、楊金ナルニ星キシテ次第
右主勢而又教解政府ヨリミ慶尚監司ニ遣テ
シテ勇士ヲ募シ若ニ篤信ニ意力セシム極度而劣
大名召使ヘ重清令事無能ニシテ經略事務
ノ勢ニシテ多額解政府、於テも慶尚監司ヘ
慶尚ニ兵卒三万ノ人ヲ兵亂だへシテシテ
亦御リトテ一右主勢大兵而敵立數年一
也

明治二十七年九月廿七日

立石喜山

佐伯少平

外省奉仕事務 陸奥守先波

此處も行商甚に傍ら在り申候
のを知る所あればうそ詔宣へ未
だ大仰望申すに至り候て御免ノ事
乞り申テタルモ同様ニシテノ事モナク
居ヌト外傳セシヤギキミ之ふ々ト同
者と申出テタんセリあり

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

0229

廿七年十月一日接受

主管 政務局高明

桂子島中平二郎謹啟

勅使奉送ノ年札ノ根付ノノ第

大臣
五十九
列代ヲ以テ申也以國ノ吉慶為主於民也
直ニ四起シノ布教ノテ不外其兵站部ヨリモ如
ニシテ多解也方資ト極日轉於方ニ力シ尽ス
ヨリ一旦ニ及ス平定ニ得ルノト仕ノモ其禍源
ヲ絶フニアラサシ文々再起シ所應民ノリ一定也
能ツタルヨリ地降相率的故滿ノ策業ヲ取ル
ニ後ニキテ不力ヲ於方ニ近ツシ修地モ布之
召委多數テハたノニ三策ノムキハ第約カね卒勘
放滿ノ全ノ近ツシ而ニテ今日ニ於テ實行シ
ト之ニキ便函ト信シテ

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

一處者全能而是ノ人民ヲ多体恤也人民ノ以
照仰也

抑モ庶者全能而是ノ三四年來凶歲
庚午本年壬午旱魃ノ如敷未良テ步至
要處一般隣境ノ有糧ナシ亦多至充不足
兵ト紳士モ實ノ多耗ノ窮民・渴キ先トト
在川大江移築陽朔水ノ以是人民ニ皆苦
外ノ利益ヲ貪る者レニ禁ホ一般人民ニ比シ
物トが如ニ方ニ之多を代ノ於方ヘ手引西ん
桂子島中平ノ賄卵金又ノ米穀ヲ為和モ
支修並生立ノ一般ノ利益ヲ歸し甚効少
ナラ先ツト布ル

清正掌揮きノ勅ノ象鮮人々を蒙患んヤ頭
ル渦キモナアリサエミ義タ一筆事セサヒ詔書
被シテテ紙レ、款ウツ体ヒヨウ文印、行路
ニ上うレシ恩敍フスカシテ之ヲ一筆事シハニ
外形上ヨリ便ヒ清西ヨリ傳本ノ國也ハニラ
改メシタル、若クツナク傳身アリ、屬シテ新紙ト
ナヌカめキ。其牛、於テ愚鴟モ狂鳥モ主上
ノ方効ナシト往乞ちる者テハ陪多降
政府ソニテ此些全リ畫布裁内セシムニリハ
某不ト本ル

一稿御達、捷報ソニタ多得多様方、當布セレ
ムルト

景春ニハ御軍平壤ノ一稿、勝夕ハ象鮮政府
在朝鮮國釜山港、日本總領事館

及ヒ於多處ノ事多々モ魚一鉤スアント人々志像
シタモ平壤陷シテハ御軍の若支那、大老
ナリ佐島日本ノ総制ハ毛皮奉木トテ佈告清モ
リ果故スルト令後々政府、吏史且然り況ド
大方人民、よりテハ稱カ御達スう聞おセんセ
ノ極メテ多カラン多クハ御軍平壤ノ捷報ソニタ
豎可ヨリ霍頓紙テ參照可ヒ同前シ
該如ト事ニ其置下一般ノ人民ハ布告不換
ム然多寡友共リシテ之ヲ昌布セシムモ久
久支ナシヘアシテ一般人民ハ之ヲうラハ
ク稱和ノ故フヤリシテ清モ、累ルニヨラリ
ルヲ有ツリル

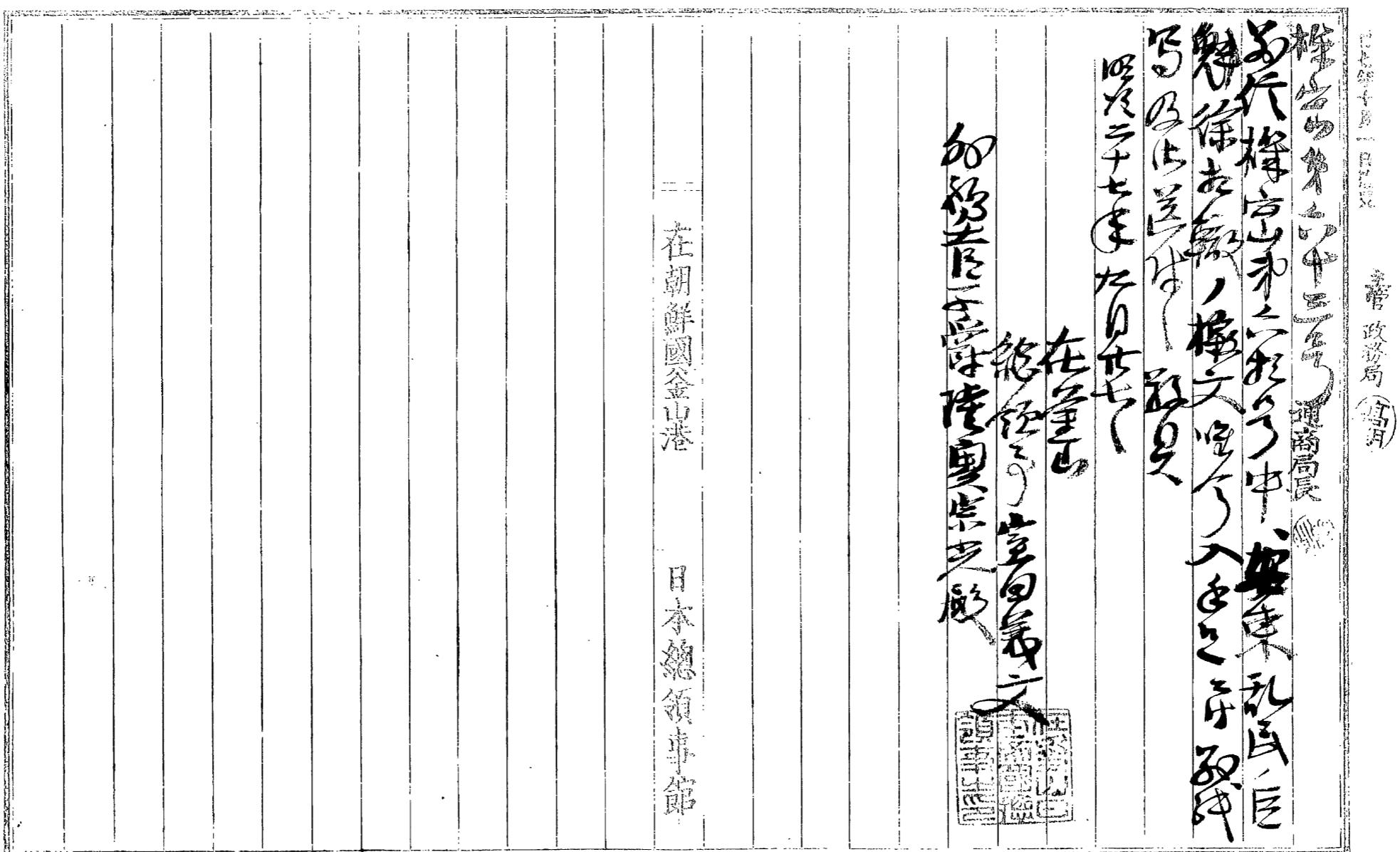
是木ノ皆目下ニ委、故治策ニ付考シキノ事
宣力ノ事ヒ至るルノ内ノ以テ官民ノ國窮
ヲ故ニ外ハシテ乍日舞清ノ惡靈為シ除焉
ニ民亂自起、賣玉大ニ減スヘント有ル
將又之々復ニ何レ根本的放仰、策第リ而
テトシテ吉田鶴聲、林良葉（日下良輝
政所ノ取ヒルカ）ニ依託、附ノ民亂危天討
チ稱方兵、内地力有者皆政所、榜文等ヘツ給
アハ勿論而化、軍情略半清外セヘツ給
御ノ計錦久里奉、忠之民、志士思
及計久也、軍慮り憶カシム、勿御差空ア
ルヘキニ自比階勢、天下ノ脚處處リ極ウシ
シ而尔方今れど、自中子の如御多事參
此不可一也少翁不列殺大ムラ申
多也
多也

立筆

佐竹重義



外省在宅少翁　達也



榜

湖西忠義徒相勵革特為大義敢布告于
我東土有義君子既徧戶人員登山而呼
四面皆應非声之高且大也以女所向者衆
也伏願家傳戶喻一体輪案倉今者君
親有累卵之急而恬然不顧臣子有不戴
之體而無寃只知畏避舉臂圖私安起肉
角寂然無同是豈我烈聖祖立百年休
養之義而三千里冠帶之鄉無一人血氣若
哉在苦龍蛇之歲御駕擣越生民塗
泥不至死亡者百無一焉以今思之則上
方精神下及匹夫多是死亡之子孫也
宗廟社稷之靈涉降昭鑒而若非天

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

討再造則終為其禍矣惟彼日人即我百
世之讎敵也有志士至今切齒南顧記
吟之声種々不絕矣何平居無事之時
有此心至於捨棄有事之日而無此心乎
惟以鈞條言之我因當行我國之事也
豈是渠之所宜也初主上逼百官遂
兵衛奪武庫卽民臣之於犯不忍言而
甚於龍蛇者也夥夥被左袒割陰囊
償人皮即渠之所甘心而一國之所共圖
者也且曰兵坊之曲々與虎狼之雖曰十
勝名山何可逃離卒然則我東土生民血
子遺乃已是進亦死退亦死何可求乎
坐待乎以天下大勢論之大清即三百年

中華之主我祖宗服事^奉之國也背之不
祥於義甚明。同人以自立獨立之說誣我
叔我西村彦一書至於侮辱上國伐文
生^余豎方所謂在廷之臣一無知覽招日
入廟不從自死後見主辱似此之類猶
如此不食不足掛齒也。而厚

世六代漢官、非^本是^本林^本但^本西^本

在朝鮮國釜山港 日本總領事館

0235

華之主我。社宗服事^之國也。背之不
於義甚明。聞人以自主獨立之說。誘我
我西村彦一書。至於侮辱上國伐交
豎方所謂在廷之臣。一無知曉。招日人
國不從。自死。徒見主辱。似此之數。猶
不食不足掛齒也。西原。

他。漫写。非本欲如此。
不是。掛齒。但西洋上。讀之得

在朝鮮國釜山港 日本總領事館

故國。餘無從差異。而日自安。尊萬
祿。公事。或有伶兵閭罪之舉。昔年政
術國之太子。至有各國。如鮮之事。日之無
援。可知也。清六十萬。東陣。仁港。又戰。
素沙。此是一捷而我。主上。山主。不歎。即清
討日。我為旦。敵到之。故不歎。如意也。日挫
甚。燐。亦有。於。累。之。以。其。船。銳。甚。退
之。車。若。有。一。撞。則。破。竹。仰。刃。之。鋒。可。立。而
待。也。日之。銳。破。底。云。便。利。不。尚。之。十。步。故
不。追。三。四。次。即。半。然。不。追。用。及。不。加。我
鳥。銳。立。一。羣。百。鎗。坐。廬。故。乞。問。對。也。也
云。陥。人。或。有。傳。汝。日。勢。熾。惑。人。心。而。以。

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

戶。暖。之。日。為。壁。至。方。武。火。城。不。多。之。甚。
也。我。之。旅。方。順。字。八。三。年。之。歲。生。民。有。傷。
服。被。體。之。心。壯。年。義。之。日。豈。不。一。晉。之。敵。萬。傷。
半。然。而。敵。滅。亡。在。城。一。羣。手。撒。文。到。日。八。路。忠。義。
之。士。以。今。二。十。五。日。高。赴。安。東。府。之。明。倫。堂。約。
期。共。戰。之。地。幸。甚。焉。
城。撒。矢。到。付。即。日。勝。一。奉。輪。赤。干。擾。內。石。她。
原。奉。則。同。畫。夜。藤。信。千。所。近。一。色。九。久。又。信。
乃。是。稱。史。藤。信。以。必。名。不。少。不。知。之。人。如。
而。有。中。間。於。櫟。岸。之。邑。是。不。忠。不。義。之。人。也。
推。數。自。知。期。於。初。終。乃。已。威。宣。準。將。有。父。子。則。子。
赴。又。亦。則。來。赴。奮。忠。効。力。者。則。不。拘。父。持。劍。劍。不。拘。子。狀。太。之。字。
以。待。甲。年。七。月。卯。二。日。安。東。府。歸。程。
似。弓

公事一有伶異間罪之舉年皆年政行
國之太子至有各國鄰解之事目之無
及可况清六十萬萬事二卷之

非無十萬衆陣，但涉又異。
莫沙列是一族而我主上嘗不欲助清

若有一堆則破竹仰刃之鋒可立而
也日之銳不可云便利不協力十步放
不遇三四次即年無不地用及不如我
之銳之率百鍾先慮故名圓熟也此
一實人或有傳此日勢熒惑人以為以

在朝鮮國釜山港
日本總領事館

日本外傳

故矢到射即日騰一车輪亦干燒肉石燒
馬車則同盡夜飛傳于近一色久之又傳
是被火飛傳則必久不燄不灼之人如
右中間燒燬之色是不燄不燙之人也
故自知期於初發乃已成空準以有父子則子
父不叫弟卦大畜之効力者則不拘女持鉗劍
火候 甲午七月初二日癸未朔卯辰

不指下
無之宋
脫名

5-1302

222

卷之三

書管政務局高明

大臣閣下

九四九
第二

樟宜才六十四天，通商局長

廣島内地於壬午年正月不穀有稿
本官久及與報署て通り事或くあれ近傍
ノヨリ候覺多以之三月ルヤノ間約有之
クヨリ監理ハシ教宣基を締シナレ大事
ニシテ之様脣吻力無く未求メ當て季
チテナシテ午後吉薩多詔賈ヨリノ報若
機トニ志火ミ其前日ニ於テ東牛山ノ巨野ニ在
布葉ヘ來リテ存而即チ監理ニシケタルノ監理
ハ彼事上密使ノ後聲高甚他種ノモニ
シトノ赴看ニ依テ直チニ信頼アル經緯人事ヲ
使用シ今迄洋總標倅ヲ除ケレソタニ左ノ
右ハ事實ニ相違無ニ候テ本日正午シ以テ別紙
在朝鮮國釜山港 日本總領事館

在金山

在金山

在朝鮮國公金山港

日本外傳

外翁大屋子翁達奥、宗光殿
テ別處在宇受ノ勧請ニ因シ監理署
更テリ少辰りえ數項罰金ニ付トシテ
差遣て右ノ内權半ニ於ケン在宇受ノ事
様ハ全ク本文兩名ノ巨額が煽動ニ止テタル

5-1302

8239

国立公文書館 アジア歴史資料センター

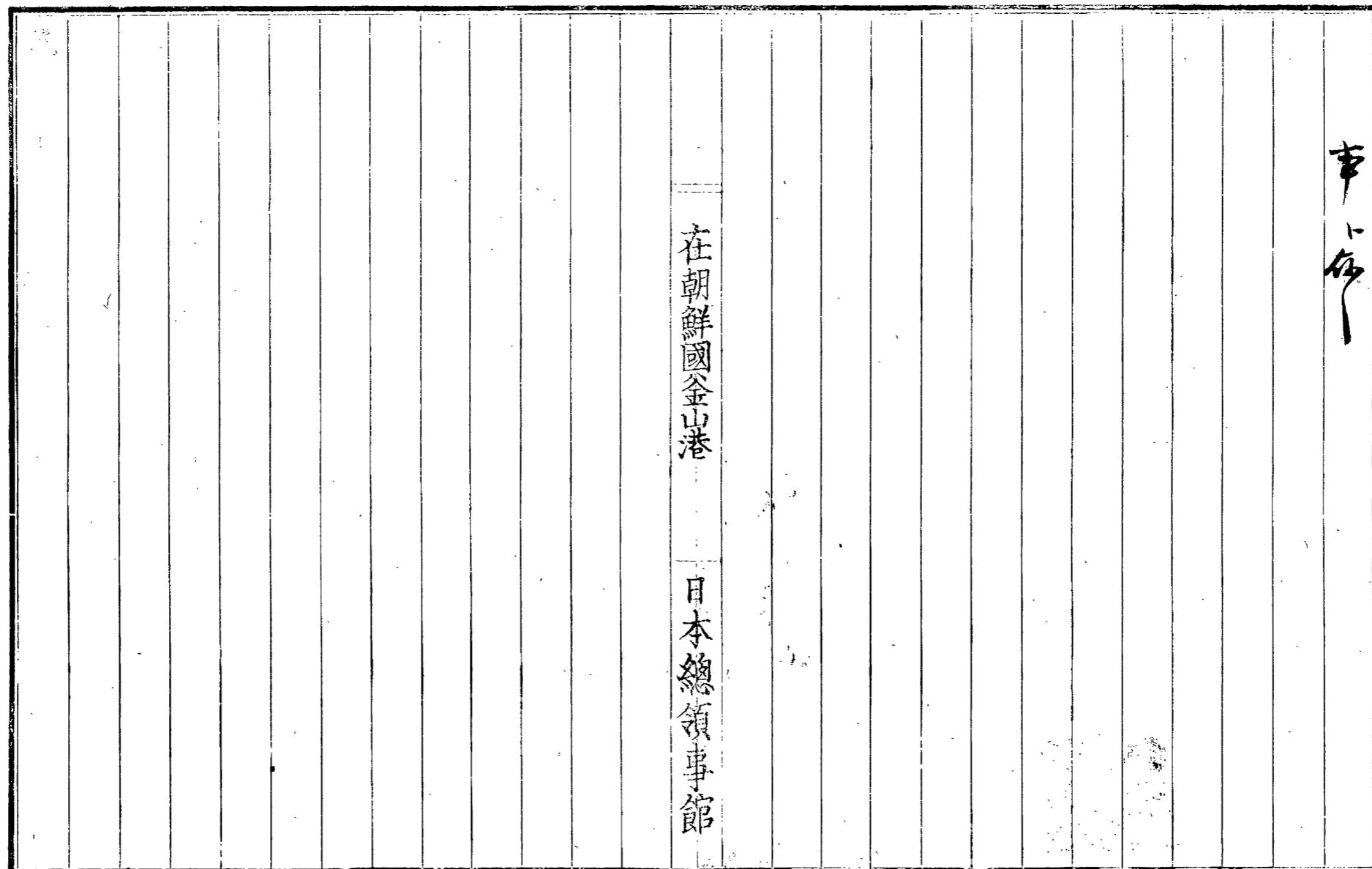
Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

事上便

在朝鮮國釜山港

日本總領事館



5-1302

8240

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

軍号

第七十八号

以吉輪陸啓上候凍者或ル正確ナル勧ノ報告
拠ハニ載去ル二十六日而テ貴君八月二十日安
東ノ金炳斗及ヒ河東ノ山雀達坤ト稱スル東
學宮ノ巨魁二名麦麿ニ至リテ面渴ヲ求メ
俱外坐有矣於テハ之ヲ房内、遂キ人ヲ持ツ
テ數時間密詰ノ後零ク響應セラレ上ツ
古ルニ陪シテ宦馬ニ匹ト錢二貫文ヲ給セラ
レ兩人ハ同日午後半、疲ヲ緩シ機張ハ向ツ
テ少衰セリトノアリ右ハ實ニ終ク半意外
ノ報告ナルニモ係ハラズ本店ハ其事一實あ造
ナ中アラ施メ得マリ柳下モ彼ノ东学宮ナルモ
ハ近來再ヒ各地ヲ越フ空、其事ノ平和ヲ寛

在朝鮮國金山港

日本領事館

スルノミナラズ成多疏郎ヲ取立ヘテ
既ニ立台村口部 刑官 竹内大尉 莫オワモ
店敷レ甚寒毒不散ヨリ身ノ所存モテハ大
邱監司ヘ電令シテ兵士ヲ召セ其酒一桶
屋内中十人ハ貴君ノ因ニ了あやラル、外ニ有
此ツ該信不況、當地方ヘミ入込ス若ルハ半
テは省重據索甚難、捕あラセ力シ大事
ニ到ラサム様語聞セラヌと本官ヨリ元再應
お求ンクシ申草ニ有ニ號ウニ空所ニテハ
根、被尋、巨魁ニ遇ヒ、峰ノ上、建、押サ
トサリレノミナラズ西京ノ上、至親、ソシテ
タルハシ何ナヘ赴き、有ニ奉事布官ニ於
ハ子解、兼政秘シ、其後即テヨリテハ玄誠成

使つ電車セサル、得スクレ、付セ。午後
十二時近ノ朝レ譯聞セ四三〇年多
服シ後レウトカ往々老成萬モノトハ得
信シ色待安士高、殺異

至ニナセ手之日ニキル

松原事室

監理金花山支局

在朝鮮國釜山港 日本總領事館

8242

乙号) 写

閏高

九月二十一日監理署
書記官外取次

「全羅各處、東學變八日八月二十日南原
ノ地ニ於テ大公端ヲ完クニ付集會スハキ
占據ヲ四方ニ發レ既、聚會スルモノ數万名
アリ各多巻ヲ持シ麥々、横行レラ党外
者ノ財產ヲ掠奪又ノ召行跡ハ危険ニシ
テ殆ドト族人ノ遍行ナキ有機ニ至レリ

「全羅道」雲峰、慶全兩ノ堂崎ハ易シ要處、
派シニ專ラ守衛ヲナシ東學變ノ慶尚道

ニ入來サル機防塞シ居レリ

「慶尚道」晋州ハ前日其管下ミ東學變蜂
起しソニモ救使、兵使、曉諭ミテ消息ニ

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

「慶尚道」宜寧ニテモ民亂起、官長ヲ逐
シシ僑妻ノ家ヲ燒キタリ
「慶尚道」端張ニテモ同八月廿七日、古村ノ
人民党ヲ起し其仲間ハ入來サルモノ、家八
九戸ヲ燒キタリ各村ノ人民之ニ異レテ寒ク
察知スルトナリ同七月一日官廳、押拂ケ新
ル处アリト六フ

廿九日正午發

曹政務局

機密文書

通商局

機密文書
第一號

機密文書
六十九号
通商局
當首爾慶近僕ニ於テ東壁宇党擇
起レ我工兵之ヲ鎮撫レタ件ニ付テ
不取敢昨リ軍報ニ及キト子之ノ寓
シテカナリ以本為地我兵詣營ニ達レ
急電報、密領一左ノ通名之
核藤工兵少尉、工兵二十九名日本人夫ナ
ニ名ヲ率ヒ詔宮ヨリ南慶ニ近ヘ全中九
川サハ午前九時於南慶ノ東立里右門
トテヘト處於テ車子党ニ生金ヒ浦我セリ
敵ルソシ百騎ト、あ、言ヒ、據リ堅固ニ防
御ニシニモ、南ハラス左右ニ斥候ヲ生レ半矣
ノ四道ヲ進ミ三百米突ノ處ヨリ砲砲レ
在朝鮮國釜山港

日本總領事館

タリ敵モ燃シニ發砲セシガ遂ニ兵馬ヲ
棄アラ、四方ヲ散乱シ其行衛體力ナラズ
トセモ多分醴泉トニ蘇野(葛平ヨリ四里北)
当ニニ逃ケキナラレ我兵死傷者ナリ敵
ノ死者ハ二名負傷者ハ多數ノ様子ナリ敵
ノ陣屋ニ先テタル家屋十一軒ハ皆焼拂
ヒタリ死骸中大將株ト見ヘ立派ナト陣
羽織ヲ着用セムモノアリシ其者葬化レシ
為メ全兵破壊セシモト見エ今捕昌ハ大
縛筒百三挺刀四本鎗三本馬ニ匹
韓錢九貫文余
右及報共ト致

昭和二十七年十月一日

在朝鮮國釜山港
日本總領事館



外務大臣子爵達摩宇光辰

在朝鮮國釜山港
日本總領事館

0245

5-1302

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

明治廿九年五月四日

曹政務局

大官

朝鮮國會事務司領事館

號七九第一受

機密文書
東曉學與助靜及其錢換一件、同
前甲另、面、在忠州、站、司令部
ヨウ、有虎、六、社、豈、洋報布之、高、右
ニ付、言ヨウ、ハム、乙、ヨウ、ヨウ、大鳥公
使、公、具、申、ま、シ、尚、あ、加、ハ、川、我
ナ、所、知、方、ハ、梅、路、支、西、報、申、ウ
タ、メ、三、セ、年、十、リ、ト、

左文書



外務大臣子爵陸奥宇太郎

カハル甲号

持家 駿考

明治三十一年八月二日

李之子の手後ノ電報來テ是押納行國最
後ノ余タ支ナリヤ古ニ移使國添墨ニシテ
テリ此ニ刻、人氏ノ曉得レテ多治郎、露ボシ端
ニセシヘキノ所レテテ御昇儀ナクシテ業務
レシテノ以テ同官部附局井歩兵曹長ニテ
令令ヲ下ス

貴賀省直一參北宗河畔、日本某支東洋事
ヲ捕獲致シテ、勿シヨ

右部伊勝夫又ハ大著功勞、從後ノ際多悉
ノ車掌、變北宗馬場ニ集合、居リ其等勤性
レムトキモノアリト、言候ルナリ既ヒシテヤ

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

ニ十二万キロ一付三千石、アル保命橋、無ノ申上ホ
多ジテ下ハ船橋トレシテ、君即レシテ、ノ以シ奉元
向シテ、ラ辛ヒは此ニ當元レ途、上北宗河畔
シ於テ酒井君セリ、引率テ、ノ多シキシキ前五十
河野ニ着カセテ、山本宣文寫、急度長ノ整先
ニ回テ、取、來テ、吉ノ音、ノ音、金云志、ナヘモノア
リ政レテ既テ、急、音、同、調音、モ、第、ナ、ト、且、ツ、日、
吉、度、志、ナ、ル、者、ハ、第、二、ノ、音、次、ニ、レ、シ、テ、其、オ、一、
リ、ワ、志、別、ラ、彼、人、の、里、二、往、山、ト、ナ、リ、外、リ、家、テ、同、度、
二、千、人、拿、モ、需、第、三、シ、テ、勢、力、缺、ヒ、不、精、ナ、リ、ト、甚、シ、
四、卷、宣、テ、事、長、ナ、左、ノ、妙、事、ミ、セ、ウ

貴賀省直一參北宗河畔、日本某支東洋事
ヲ捕獲致シテ、勿シヨ

十二り教國ニ向ヒテサヌニレ彼ノ高級ヲ神體

レ朱ムニ東レ

右、年金ヲ下シ守備兵、内上等兵一名、兵卒七名
ツ、萬兵萬兵、大將軍三萬、其威儀、年、以、忠烈、
深リ而井尋、也、左、帝、子、シ、下、又

貴宦ハ、既卑官、於、徒、山、而、之、當、天、之、而、而、
萬ノ奉、事、之、貴、人、神、體、之、勳、立、而、
其、朝、鮮、政、府、年、所、否、一、官、將、使、鄭、故、原、
大、元、者、東、學、之、達、院、編、考、ノ、本、易、三、夷、
來、將、軍、歲、三、有、所、已、事、之、二十、零、三、期、之、處、
附、近、某、次、之、東、學、之、宣、之、奇、缺、之、島、之、視、
流、矢、所、ア、レ、ト、ス、ト、義、之、モ、ア、リ、依、シ、右、支、
極、使、而、稿、ノ、勿、多、ク、制、し、直、一、洪、宜、之、而、

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

會、ク、ホ、ム、ム、之、從、レ、福、萬、ノ、故、ク、以、研、レ、シ、會、セ、
聖、於、西、稿、セ、レ、ノ、言、フ
二十三、年、金、正、定、ト、共、ノ、牧、使、ノ、家、統、キ、宣、授、
使、而、稿、之、皆、無、便、ノ、而、ノ、小、官、領、舞、政、府、命、
ヲ、帶、ニ、未、リ、ノ、東、學、之、受、之、鎮、極、也、レ、又、例、也、
他、リ、聖、宦、近、ノ、同、慶、輔、傳、ノ、事、之、寄、行、セ、シ、ト、之、
果、レ、シ、然、ル、カ、年、正、定、ト、共、ノ、事、
兵、統、監、古、リ、大、佐、不、レ、得、今、千、得、一、定、補、的、
候、白、ク、大、朝、鮮、國、王、今、四、車、學、之、再、裁、ノ、事、
補、候、ク、ヤ、大、朝、鮮、國、王、今、四、車、學、之、再、裁、ノ、事、
補、候、ク、ノ、大、朝、鮮、國、王、今、四、車、學、之、再、裁、ノ、事、
多、文、被、竟、ク、ト、再、裁、セ、シ、テ、是、一、貴、國、之、頗、ハ、

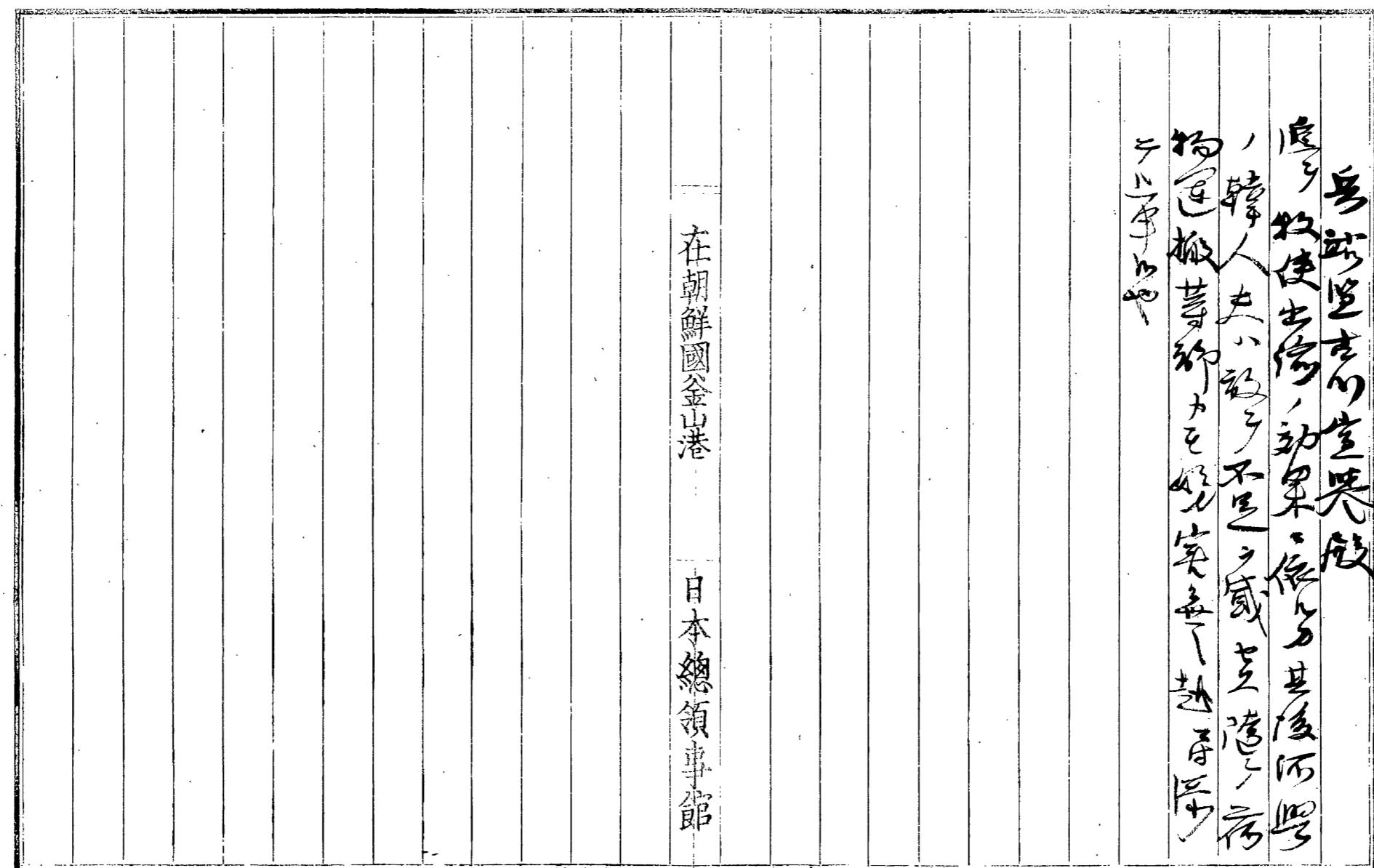
ス等トアラハ我何ニシ日本ニ對セトヨリノ傳ニ仰
テ、彼、受、鎮、撫、ノ、ク以、テセラル故、我、物、骨、碑
身、此、事、ニ、尚、未、矣、向、受、ク、鎮、撫、之、韓、王、ノ、要、
解、カ、ニ、考、フ、既、以、三、來、ノ、前、考、地、ク、而、組、レ、
年、一、毛、義、妃、キ、ハ、被、壹、ノ、時、多、集、テ、二、万
の、毛、三、毛、人、毛、レ、之、雙、共、高、領、ク、慶、高、復
得、レ、之、萬、平、多、教、ス、ノ、ク、得、テ、故、此、地
於、テ、毛、昭、日、ノ、以、彼、ノ、旨、欲、召、集、レ、之、韓、王、
タ、レ、ナ、又、壹、部、人、毛、レ、無、氣、妨、害、萬、平、十、力
タ、六、自、う、宣、役、勦、説、レ、テ、ナ、又、韓、王、之、韓、
南、印、リ、捕、鰐、之、萬、平、ノ、ア、ラ、ハ、我、韓、
四、敵、し、却、テ、所、立、韓、起、萬、平、ア、ラ、ハ、我、韓、
在朝鮮國釜山港

日本總領事館

王、ノ、憂、間、海、苦、夫、始、可、是、ヤ、布、久、使、君、少、韓
王、ノ、為、シ、暫、リ、久、里、受、捕、鰐、ノ、テ、猶、豫、ア、リ
シ、テ、シ、起、レ、切、坐、色、リ、萬、平、ノ、ト、金、吾、回、ク、長
奉、奉、三、治、賜、予、命、今、之、度、テ、彼、受、ク、捕、鰐、セ、
上、又、故、俄、ニ、貴、尔、三、在、レ、難、シ、難、シ、上、難、元、貴
官、ノ、記、望、點、根、ニ、立、久、暫、ラ、ク、口、完
捕、鰐、ノ、ア、ラ、止、シ、テ、金、山、多、就、監、ノ、接、捕、シ
待、シ、レ、ト、宣、檢、佐、大、喜、亭、之、經、曰、處、人、事、
付、詔、書、不、ト、數、詔、其、間、來、予、芝、面、鏡
ノ、新、在、立、姓、名、ク、諱、幼、子、之、得、ヨリ、(末、處、財、紀
ス、像、立、立、部、三、票、上、直、便、義、上、舊、多
勢、七、拉、票、立、之、源、井、萬、平、上、集、多、
勢)

執、獨、望

(或、ハ、傳、古、上、之、方、鏡)



吉川乙巳

高弟亮翁君、従軍して在朝より為政事
ヨリ吉川を出立して洋服にて坐り御内宮一
自車馬歩行と居候て大朝市中いつ多詔
札是首領、姓名を一々詔勅ある。又多詔
宣於使徒、字あきらニテ西使ノミト仕ジ
其節を甚節あり多た事實に余念レバ事
、うむり捕へテ余をも、久わりかへ以テ其れ
ナリ無事セシム所を御へ申御事あらが
既ニ再々ト改め更に従事、餘事詔御リ
詔書ソントニテ其御事ヲ又御寢し亦色々機
リ屋フセントス。方施シテ併合へ一旦、宣施
往、送信、之を解説入る。其旨別々之をし

在朝鮮國釜山港

日本總領事館

至カ、尤メ多文化、多所御援助シテリ。一事ツ
律也スニムトテ、獨り又爲か人か、則り多解人
、諸為力博かと見え、未シ達今所大へ力あるシ
ト希伏えん。之を、由地不様、事博く。シテ
千今色已改め、色ケーナノ少、船、馬リ絶
乎、少被相占不般、御臺、圓、シテ御座御
御多事奉

07月22日

立身山

仁秀亭

御名下候公使大臣事務所

大臣閣

暗早



省務外

電受第四四八號

(明治二十七年十月一日午前五時五分發)

様基六四及ヒ六七中ノサイ.キン.兩名蔚
山三子捕えん所持書類を依六彼等公東
學院ノ重立タルモノ大つト明カナ譯合せ付キ
次第取調委細報告ス

金山 岩田

外務大臣

5-1302

0255

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

而シテ其目的“參報”極ハ同氏旨望王妃及
世子ヲ慶シテ已レ王位繼承者地位立同跡三改
革
革
革
吉齋率テ除ナ政權、金之大院君一家玉掌廬
トスニ有之趣、日知“支那勢力”日率ニ反對ナ
ル外人ヲ引キ何事ノ極ニ依頼シ嘆有之於右
敵ノ丘吹李仙得モ以テ力、地主司モ出、并
護殊哉。

右某ノ參報意計追及對派操知セラ更後示
漸リ京師近、抑未シ其半許カ亨賈、所入
居ル、可後有之國王ヲ始ノ政府ノ人ニシテ恐懼
ヲ懷テ先般東宣撫使トシテ大臣ヲ送致之兵部
于、附隨セシノ若、說諭、服シトキハ直ナニ之、遂伏

在朝鮮國日本公使館

ス可レド申出テ大院君加シテ採用セス上申
再三ニ及、兩三の手、大院君ノ名ヲ以應說
輪、加シテ九決シタル由、右矣然ニテ而作。政
府ニテ東往、密使、獨終シモ趣シテ別、既乙号
、忠山書、延入未だ忠山書、義士人“忠清道人”
鄭黃德ト戸々セシ其有所もあらず、昨夜免
日韓双方、もとテ捕縛、若手本部、其事、就
捕、報テ、五萬、不ト及向、其處、彼バ、
慮、日晦、期シテ書ヲ右國公使館、授、同時、
事ヲ岸ケテ、變革、國ニトスモノ、如ノ又會議
員オ、日兵ヲ傍リテ立擊シテス、高大院君方
ミテ之ヲ支フ、厚タリトノ意味、將、多、ア、
就、ル、而他警備隊長ト共合、上、一、兩、ア、

城内警備ヲ嚴シ且ツ内用領事武之警戒
ヘシ
訓事シテニ麻密山ニ便案沙利店ノ又猶示
今略行併入港ノ可チ旅國私署上之移好
岐府ト協議、上出兵鎮壓、方後五箇月内
止城内除右及具報リ也

昭和廿七年九月廿二日

特命全權公使大臣主介

外務大臣了萬財達興宗之敬



追々奉ヌハ東ラ大院君、反對三人ノロア出シ難吉モ
一派ニ信用ヲ持キ難シト至ヌ之ヲ憲ニテナニ三都跡ニ
有立たず而東ニ及古報足

在朝鮮國日本公使館

奉文、或セア一大度君、説諭又入手及古手文城
丙午トシノ正月丁未

別紙甲号

右敵通事。夫事合於義。則人無不感。言發於誠。則人無不服。此誠
何時而人孰無倡義推誠之心哉。猶歎哉矣。伏惟我列聖朝五百
年。文武之治。無愧三古。而聞於天下。不幸島夷猖獗。至於舉兵
犯關。當此主辱臣死之日。壞東土數千里。彌天足地者。豈可
竄身偷生之計而已。方今之勢。上國來發。本國舉義。內外夾攻。則
小魄之威。譬如泰山壓卵。螳臂拒轍。討平匪復。易於反掌。此正大
丈立功名報。君父之秋也。鄙等本以無似。不足以博古通今。
武不足以馳馬試劍。然臨亂濟危。輔國安民之心。即吾侪之素所
蓄積也。今當討賊之日。大舉倡義之師。風靡影從。勢所必然。
大會之場。焚香約誓。所過之處。戎暴禁掠。且勿緩步徐聲。惟
遠妙筭。神機玲瓏。賊魄保棄。宗社之地。千萬幸甚。

此亦中如是通告後。執迷不悟者。可謂志其半吞厭祖。更加三

在朝鮮國日本公使館

思母城後悔

別紙乙号・一

荷汀兄無恙。得抵二十二日。錦囊秘計。細相確。當日速行。期於今晦日。得達政府與各館。隨即捲土大起。務使備書到。到日便取。近折各要害處。做得鐵箇。如神龜造化否。若少有遲緩。不及此期。大事失矣。今會議員急。約東傍日兵。攻擊于東後。幸賴一處。僅幸全。目今景氣。今明間發兵出擊。趨勢已迫矣。做得不日。一遣照。到各館。一遣鬼神莫測。自爲落膽。大事自消。始可通吸矣。內機則與兩面令密做耳。星山許以此急報。期做一塊。前後進發如何。書不盡意。東方存亡。在此一舉。猶省默念。勿敢不謹。焚香伏祝。

在朝鮮國日本公使館

二十五夜

立德再拜

錦娘。今山事。一面另為。子何以何。性山與生
今周旋。揚授事。大兵到。未旨自有後應。
鎮北云耳

一處。大慶君。所。三

西。大慶君。所。三

乙号、二

學川老哥。一路安歸。直抵如約。遠行大事否。
焚香屈指。恭候。晦日。東方太平之舉。期使
照文與大兵一時到來。以為鬼神莫測也。另以子貢
一書。比諸兄節。亦是少可耳。

二十五夜

德次再拜

私約不忘耶。某是赤手渴喉。不能用武。以此
告歸。壽峰丈。烏尤風許。謫送。如何。

在朝鮮國日本公使館

8261

別紙百号

興宣大院君

為

劉切嘆論事。我朝以仁厚立國。禮義成俗。重恩累治五百年。間民不見兵戈。至于今夫何。既近以來。紀綱解弛。風俗漸頽。方伯守令之貪虐。土豪惡族之武斷。奸吏胥胥之侵削。日加月增。罔有紀極。度我祖宗懷保之赤子。舉不聊生。京闕高遠。躡跡無路。遂至托名東學。聚黨自保。以其一日之幸生。完其情狀。吁亦棄且憤矣。余年閑戶間居二十餘年。既老且病。不聞世事。近因國家多難。其病入關。外望則四郊多夕。墨烟塵滿目。內顧則宗國孤危。勢如織旅。羣視八路之中。所恃而為國者。惟三南是已。惟此所恃之三南。大半為詫誤所乘。始緣時免而起。渐至乘勢而動。到處搆擾。干紀犯家。度官不得施政。朝不得行令。民不得安業。百害試

在朝鮮國日本公使館

思之。此果出於義舉乎。悖舉乎。今之罹東倭。皆日亂民。直勦擊之殘殺之。吾獨不忍以亂民之目加於汝等。汝等皆吾祖宗休養之良民。否不能順其性。保其生。而使至於亂。又何忍以兵刀相擬哉。朝廷已委使三道。旨示德意。汝等終不回顧。是與朝廷相拒也。於是手乱民之司。不可得免。國家恩宥。不可常得。恐有悔胥以溺之慮。不亦可哀可惜者乎。茲體我聖上之意。敷陳心腹。謹行布告。汝等若翻然感悟。釋兵歸田。斷無一毫加罪之理。見今秋事已熟。上父母妻子同亨。饋與。水作太平之民。具有才譖而流屈。投人者。當自政府頒才收用。如或不遵。告戒恣行犯法。蜂聚蠭凡。觀望不解。是自取大禍。吾亦憂卿之矣。吾今年迫八十。無他營求。斷一念。惟在於宗社生靈而已。天日在上。必不相欺。若有不信之言。汝輩中解事三四人來聽面諭。必當使汝然水釋湯。

然知非近日。朝之改革政治。政事亦聞之乎。從前弊政之爲民病害者。一矯正。修廢補遺。雖蒙和平之福。武皆威靈。上為國。治民之苦心。政等耳。仰副至意。姑然與諸何苦。捨平穩之樂地。自趨危險哉。嗚呼。今日是政事。渴福之秋。人鬼之間。余言止此。其各悉聽。毋致後悔。

在朝鮮國日本公使館

公信第一二六號

文第一二三五

松波地方東学黨集合、凶說、閏と視察事件
ノ船主威逼於波地方、於多處、東学黨
集会、海古越、高館、告示、有之者不
行殺、本月廿六日、以、高館附近、及右殺、渡
河、其節、清志、陸軍、寺浦隊、一部、ヲ
派遣、但、素、首謀、未定、到、年、被、今、否、而、
直、到、段、東、學、黨、集、合、事、跡、ヲ、記、サ、レ、趣、
付、所、為、且、敵、決、綱、具、

明治廿九年九月二十六日

主、兩、ニ、事、經、年、內、固、定、地

外務省次官林重俊

在朝鮮國京城日本領事館

0264

劉仲鳴

復命書

明治三十七年九月二十六日松波地方ニ東學黨集合シ居ル由風說有之ニ付案否探偵可致旨命ヲ奉シ即日全地ニ出張探偵仕美慶全地ノ勿論該近村ニモ全黨が集合シ居ル等、事ハ一切無之由尤モ何人カ目撃スルモノ之ク東學黨ナリト指定スルハ容易ノ事ニアラサレハ或ハ少許、黨人人迹ミヅルイニ難斗候得共當地ハ兵站司令部、設置モ有ズ日本軍隊ノ通行モ屢ナレハ多數、東學黨集合スル様、事ハ決シテ有元同敷尤モ忠清地方ニ入レハ全党々公然各處ニ集合シテ財物

在朝鮮國京城日本領事館

ト掠奪スル由現ニ五六日前モ當地、者駄馬、荷物ヲ着ケ堤川ニ行キシニ荷物ヲ奪フレタリト云ア前余、如ク東城ヲ距ル東方十里以内ノ地ニハ東學黨カ公然集合シ居ル事、事ハ無之弔ニ今回蜂起、東學黨タル純粹ノ東學黨ニアラ又又目的トスル處モナク只無頗党力名ヲ東學黨ニ藉り金錢ヲ掠奪スルニ止カルモノナレハ入城シテ大事ヲ為人等、事夫シテ有元万石森ト云フ

右之通牒知仕共ニ付山陽復命仕主也

此畫渡達廳
正使太田芳太郎

正使弘瀨高衡

暗號

電達第三號

明治廿五年十月七日
午時五十分

右廣島
鍋島外務書記官

陸奥外務大臣

室田總領事ヨリ左ノ電報アリ

岸達坤ト金炳斗、西名蔚山ミ捕ヘテル

其所持、書類ニ依レハ彼等ニ東學子党、

外務省

宣立タルモノナムニト明カラ季細候ヨリ勢
告ス

右件乃井上兩伯ニ傳ヘシ

同 明治年月日 起草
三十七年十月七日

大臣、右

主仕



COPY

Seul. 7-10-1894.

No.875.

rec'd 8--".

Mutsu,

tokio.

118. Our soldiers guarding having been decreased
to only 牛馬, safety of the city is endangered.
長崎川 旅団 has arrived. They have? no-
thing to do with guard business. As our policy
requires presence of large force in 新潟 in order
to keep the people and the country in quietude
against the prevailing rumor that 新潟 is 軍
augmenting strength and marching directly upon
新潟. Send at once? at least 100 as the guard
of the city.

Otori.

5-1302

0267

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

5-1302

0268

Murter

Tokio.

(33) If you wish, I can send
without provocation ^{往々} now
prisoners in the superinten-
dent office, not in my con-
sulate, but judging from
the statement they seem
not worthy of such a treat-
ment, I shall report you
particulars, after my per-
sonal (action) inquiring this
afternoon.

Murota

Busan. 9 10 1894 10.45 A.M.
Rec'd 11.40 P.M.

電受第 八八〇號

電送第

四

六

九

二

五

八

Murota

134

中等

(24) General ^{軍事} 1115 recommends
to send ^{軍事} two chiefs of
軍事 now prisoners in your
consulate to impress them
with modern civilization
(if anything about this matter)
is known to your report
particulars.

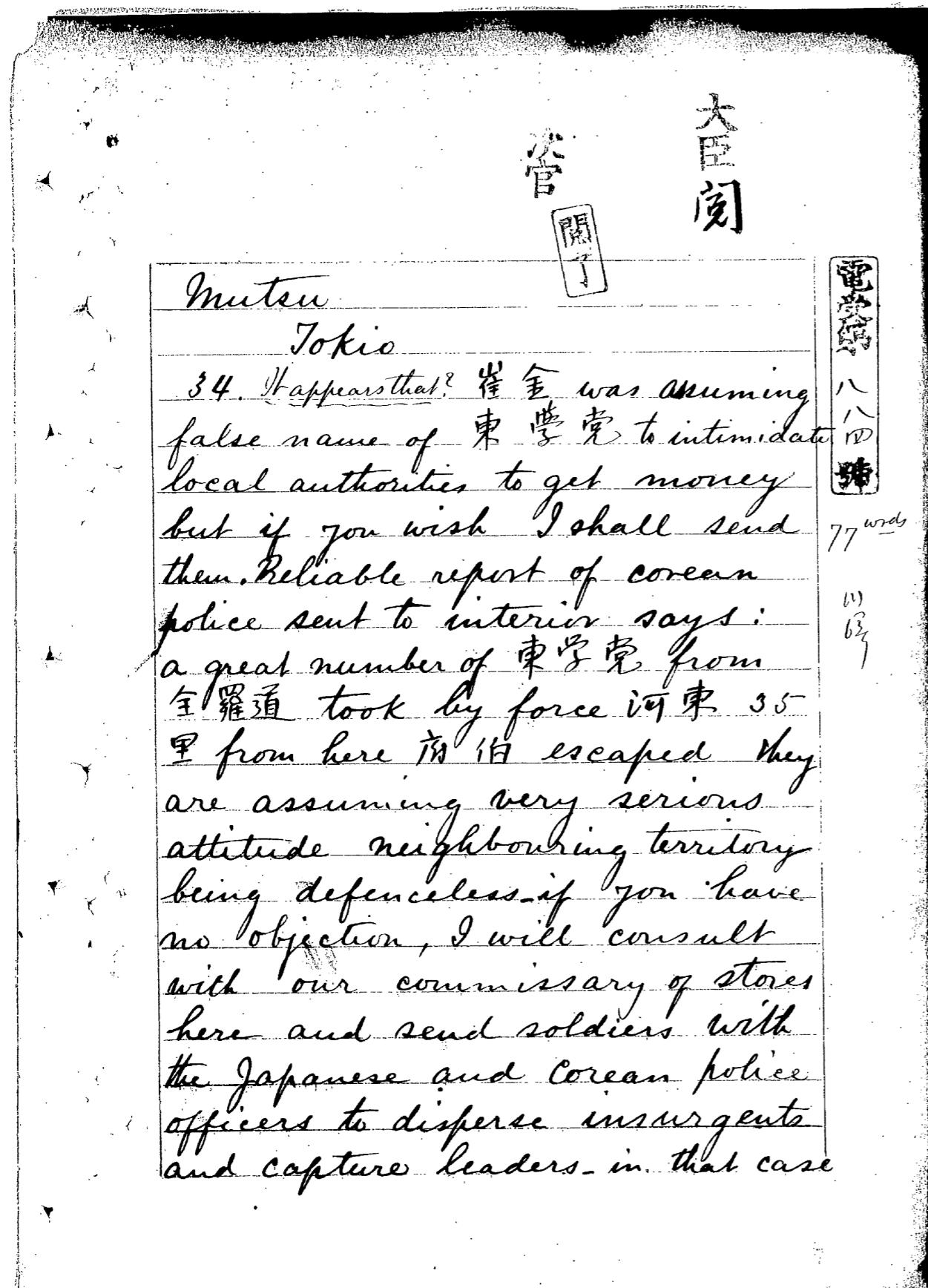
Murter

Sent 8 Oct. 94.

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>



2

I will at first communicate Corean Government through 在朝鮮京城公使.

Murata
Fusan October 19 - 1894 10-10 p.m.
Received 10 - 1-20 a.m.

Mutsumi

Tokio.

(121) Korean government at last decided to send several hundred to suppress ~~反乱~~^{反乱} and privately asked me to lend our forces. Please take immediate steps as to my telegram 118.

電送第
八
七號
22

Otori

Segul 10/10/94 12. 400 AM
Susan 10/10/94 5. 0. PM
Rec 10/10/94 10. 0. PM

Otori

Seoul.

As Korean government are unable to suppress ~~反乱~~^{反乱} because it has become necessary to do so with Japanese forces, too. Communicated to Korean government that Japanese forces will be shortly despatched for that purpose. It has been asked to ~~日本~~^{大本營} to despatch ~~太~~^太 - 大本營 for the defence of ~~方~~^方 方。

Mutsumi

sent 10 Oct 94

大臣兼糸

明治廿七年十一月十日起草

同月

日

發送

主件

川原

電報案

電送第三五三號 明治廿七年十一月十日
午後二時 鑑

在釜山

室田總領事

陸奥朴翁大臣

崖金ハツマリ朝鮮ノ賊ト見ルノ外ニ
日本ニ送ル及シテ東洋子黨鎮定ノ出
兵ハ大本營ヨリ命乞アル旨

外務省

密告

次官



廿七年十月十一日接照

舊政務局



拔寒元ナセナニヨウ

通商局

九一〇二號

近來當道內各地方ニ該處セル東京
鎮撫處方件并ニ釜山至城向軍
用電線保険ノ件ニ付テハ先般本機
客信ヲ以テ追々具申及至ト有り阿圖
政府ニ於テ至多嚴重ナニ取締ラムス
ヘキ様其竹内一松謹方大島公使：ヤ主
事トシテ昨日杉村書代官ヨリカムノ通り
東學黨并ニ電線保険ノ事ハ物久ヒ
ヨリ回政府ニ迫リ居テハ治院ノ（建ヒナキ）
自心底中トノ電報ニ掲シト、然ニ亦
道内：於テモ東學黨ノ汽船、火薬、鎮火
セスレテ今ハ尚ホ多知ニ生反ヒ中ハ和回

在朝鮮國釜山港

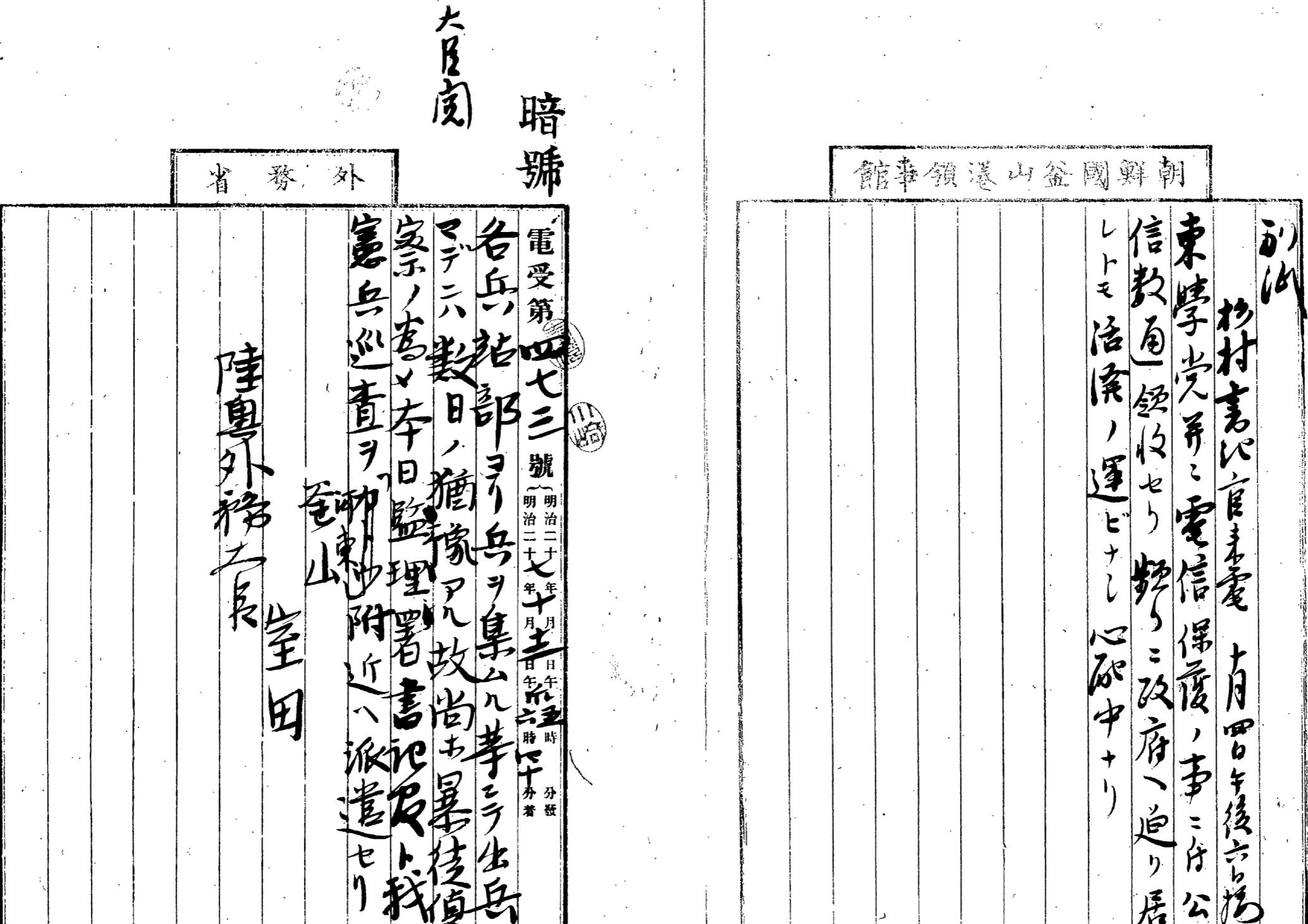
日本總領事館

人：對ニ甚シテ敵意ラ含ムモノ、右之若
レ当回政府ニ於テ之ラ茅周視シテ處置
ナハ勿シナカヘトキハ彼茅ラシテソ並ハ獨
極ラ是フセシナ如何ナハ梧辛ラ惹起ス
ヤ計ハ一カラス且ツ未金向軍用電線ノ
此後島モ警戒ナハシテ止ミ無之事ミ
彼被民ラシテ再ヒニテ切削し或ハ破毀セシリ
カ如キア新シテさえ梅は反ト有ラ而件處
言、其仕跡、監管シ至多シテアマク様大島
公使、伊川令ナムモヒア及早申ト致ム
此はニナ七年十月ナル

左室名治郎事官印

外務大臣子爵陸奥宗光及

印



太陽

電受第
九
一
一號

38^回

11

6^月

島、轉電
所

Mutsu
Tokio

124 Corean Government are about to send troops to suppress togakto and earnestly ask me the dispatch of our soldiers as I think it our duty to assist Corean Government at this moment move proper authorities to dispatch immediately a part of 旅團 under 長官 11 陸軍少將 or troops attached to 兵站部 for that purpose

Otori

Seoul October 12-1894 11-10 p.m.
Received 13-1894 3-10 a.m.

5-1302

0274

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

至暗
急

明治 年月日 起草
同上 同上 同上 発送

電送第三回 明治五年正月
午時三刻

廣島

鋸島从務書言官薩摩人从務大臣
左通便理大臣傳二日
東方先鋒機力ノ朝鮮軍隊、接與
トシテ我軍隊ヲ派遣セラレシト朝鮮

外務省

政府ヨリ依頼アリタリ此際朝鮮ヲ助
ヒハ成國ノ義務ト恩ヘ是れ其の助ト需
要シ長谷川少将、旅順ノ一部シテヤハルカ
又ハ兵站部ノ一隊ヲ派出スルカトモカリモ其同
約ウ達スル様其筋協議アリタシト大島公
使ヨリ申奉リ本大臣モ大島公使ト同
意ナリタルニ此事ヲ聞ヒ陸軍次官在京
中タビタビ相談シタレバキタ運バ此後亦

テスラキラハ朝鮮内地ニ又ニ駆動オコ
ルベシ何幸貴大臣閣下ヨリ大卒官ニ成
協議下サレ朝鮮政府ノ事ニ應ヤラ
ル様厚意計ラ乞ト

外務省

5-1302

0276

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

5-1302

0277



至急
暗號

省務外

電受第477號

明治二十七年十月十三日午後三時四十分起

東京電報機、乃メルヒウラ出スフハ大
本ニテ工事玄スベレ井上伯ノ仕事者
マラル、迄各處ニ及バ所言見合サレタレ
日清以後文子ヨリ九手迄至島地
ミテ如澤ノ上新橋往還ルに托シテ
レタレ

廣島

伊藤潤一郎

佐々木義之

5-1302

8278

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>